

## ヤリスクロス モデリスタ バージョン

## フロントスポイラー 取付要領書

品番 D2531-63710-XX  
品番 MSD41-52009/10-XX

設定型式: MXPB1# / MXPJ1# 設定グレード: 全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

## 取り付け上の注意事項

- 重要** ■本製品はDC12V車専用です。DC24V車等、指定の電圧以外では絶対に使用しないで下さい。
- 取り付ける前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際、間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
- 重要** ■取り付け作業は補機バッテリーのマイナス端子を外してから行なって下さい。
- コードの配線には十分注意して下さい。誤った配線をしますと故障の原因となります。
- 重要** ■コードを引っ張ったり、重ねて使用したり、挟んだりしないで下さい。発熱や断線の原因となります。
- コードの取り回しは、必ず取付要領書通りに行なって下さい。
- 誤った取り付け・分解・改造等は故障・破損・感電・ショートの原因となります。そのような場合による損害の責任は一切負いかねます。
- 商品の仮合せ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施下さい。
- フロントスポイラーを取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず一方向に拭いて脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。(PACプライマーK-500を本品に添付)  
プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- 重要** ■両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、特に白色塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
- ボディコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- 重要** ■両面テープの圧着を十分に行なって下さい。49N(5kgf)以上
- 重要** ■フロントスポイラー固定用のビス類の本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。
- LEDの明るさ・色に多少のバラつきがあります。あらかじめご了承下さい。
- 経年変化により、LEDの明るさが多少変色する場合があります。あらかじめご了承下さい。
- エンジン始動時や電圧が安定しない時などに、光がチラついて見える場合がありますが、製品異状ではありません。

## 取り付け完了後の点検・注意事項

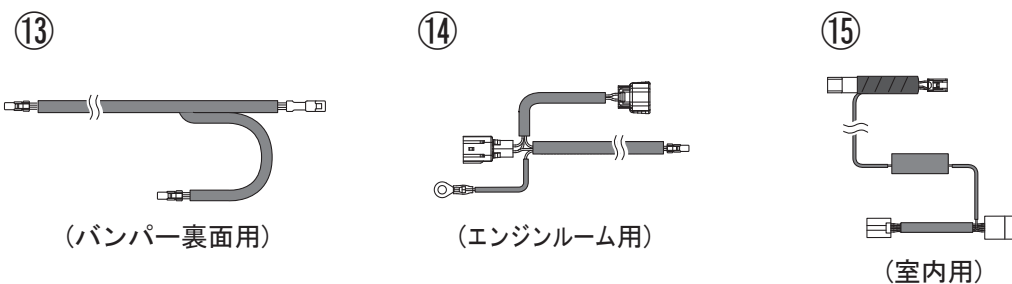
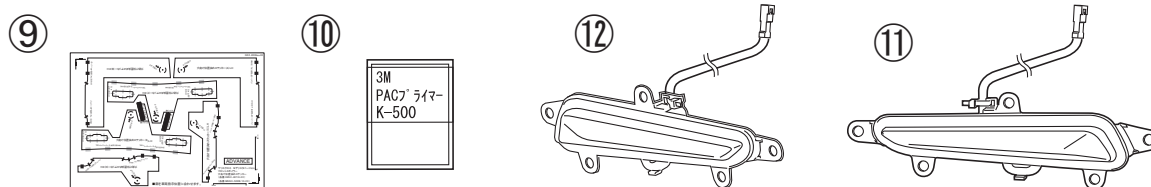
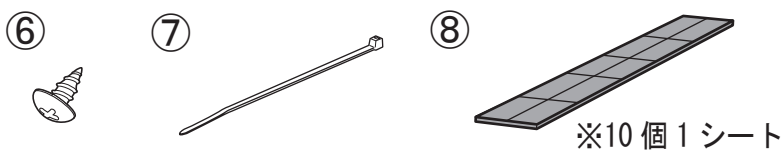
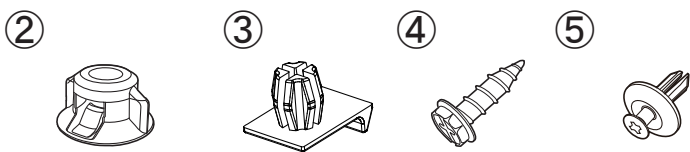
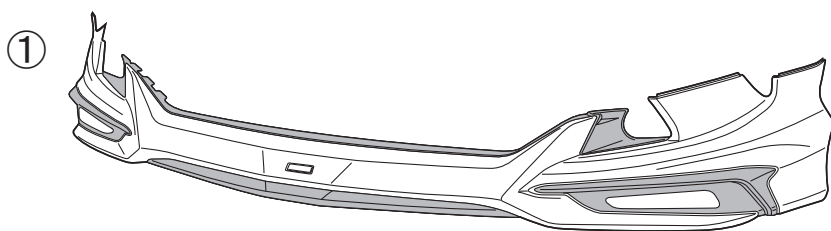
- 作業終了後は各システムの設定・確認を行なって下さい。(車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定/作業」を参照)
- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。(両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーとの間に隙間が発生するおそれがあります。)



アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	クリップナット	2
③	スクリューグロメット	4
④	アプセットタッピングスクリューM6×16	4
⑤	クリップ	2
⑥	タッピングスクリューM5×10	4
⑦	結束バンド	17
⑧	クッションシート	10
⑨	穴あけ位置決めステッカー	1
⑩	PACプライマー-K-500	1
⑪	LEDユニット:LH	1
⑫	LEDユニット:RH	1
⑬	ハーネスA	1
⑭	ハーネスB	1
⑮	電源ハーネス	1

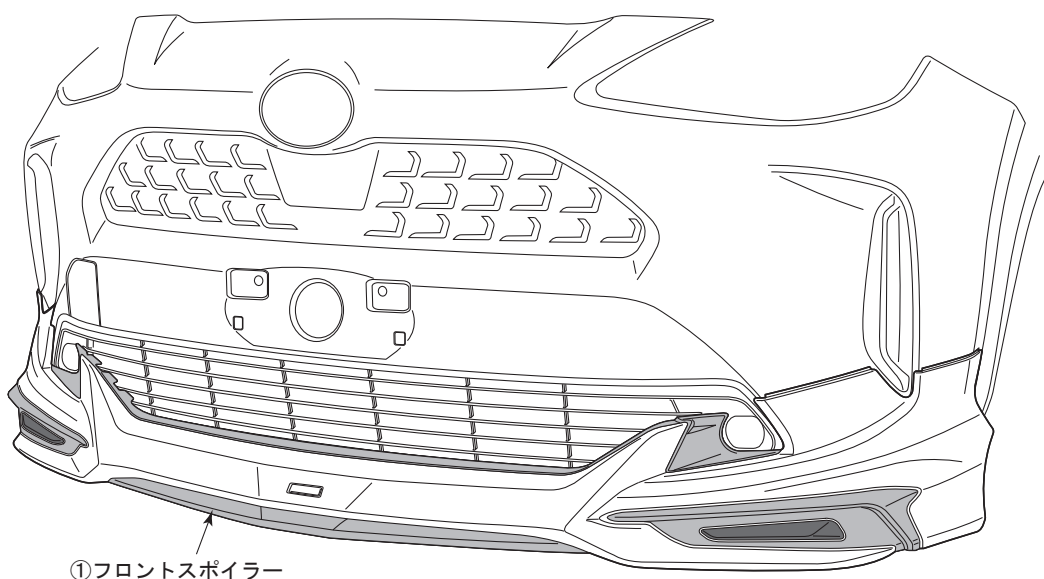


(バンパー裏面用)

(エンジンルーム用)

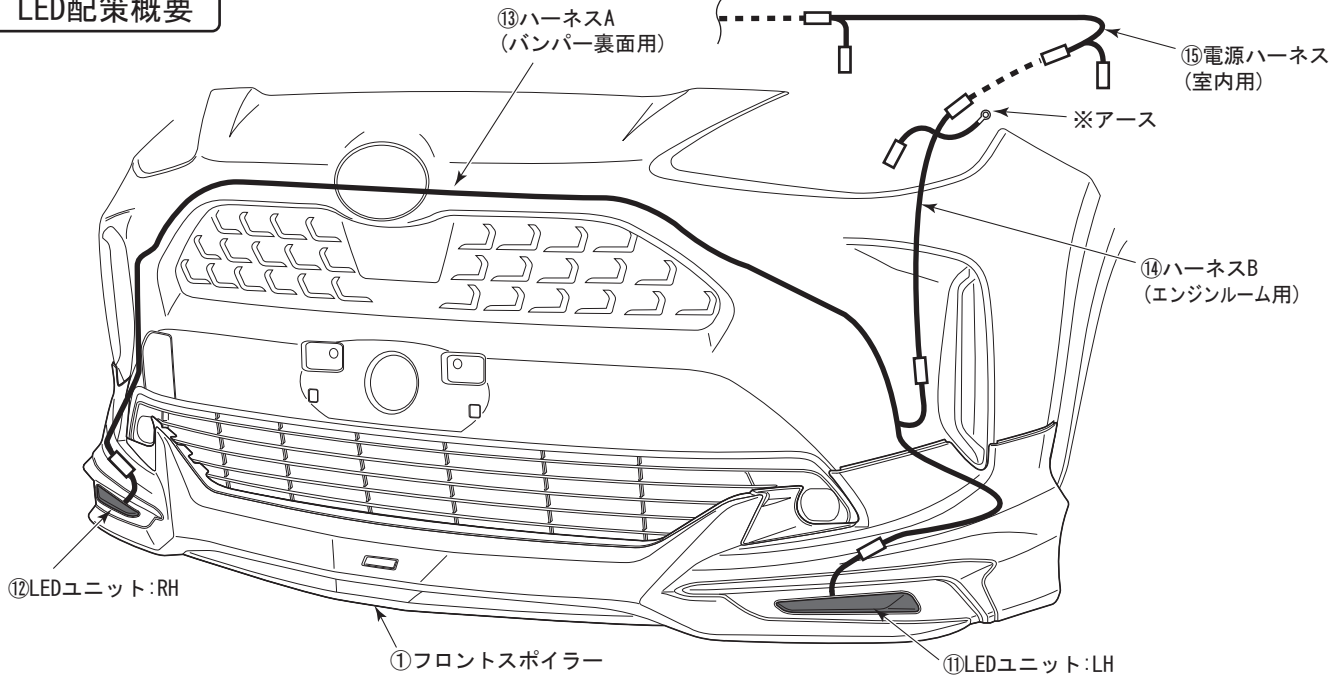
(室内用)

取り付け概要



①フロントスポイラー

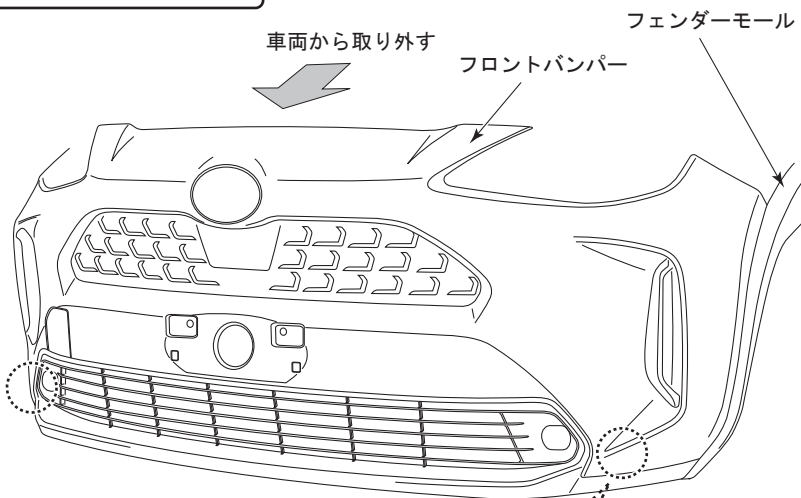
## LED配策概要



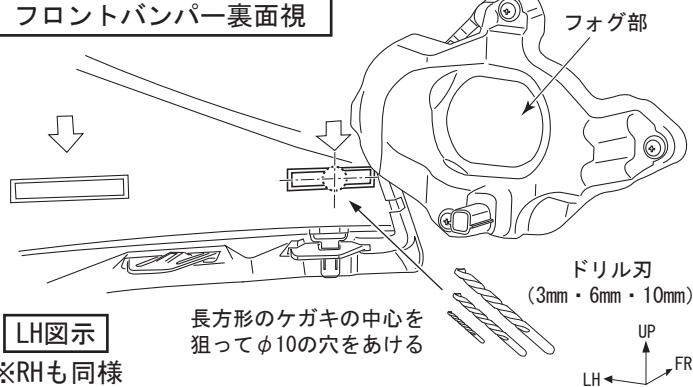
**注意** カラードフェンダー(品番:MSD15-52001/2)と同時装着する場合は、必ずカラードフェンダーを先に取り付けて下さい。

# 取り付け手順

## (1) 取り付け準備



### フロントバンパー裏面視



LH図示

※RHも同様

1. バッテリーの⊖端子を取り外す。
2. 車両からフロントバンパー及びフェンダーモールを取り外す。

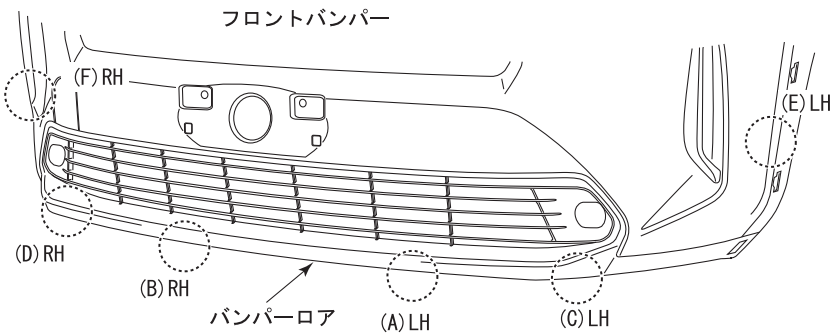


### アドバイス

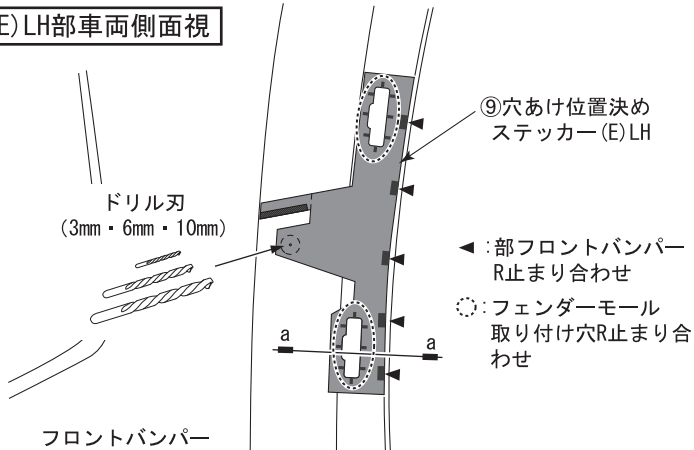
・取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。

3. 図示部のフロントバンパー裏のケガキの中心を狙い、ドリルで下穴φ3mm、φ6mm、正規穴φ10mmの順にフロントバンパーへ穴をあける。(左右各1カ所 計2カ所)
4. 穴周りに出来たバリを取り、仕上げる。

## (2) 取り付け準備



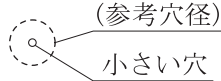
### (E) LH部車両側面視



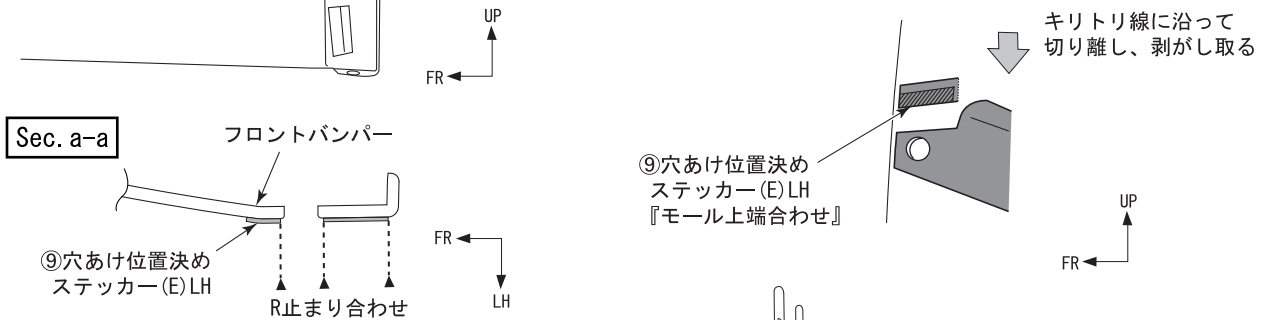
1. 車両図示位置へ、⑨穴あけ位置決めステッカー (A~F) を記載の要領で貼り付ける。  
(左右各3カ所 計6カ所)
2. ⑨穴あけ位置決めステッカーに型抜きされている小さい穴の中心を狙い、ドリルで下穴φ3mm、φ6mm、正規穴φ10mmの順に穴をあける。  
(左右各3カ所 計6カ所)
3. ⑨穴あけ位置決めステッカー (E) LH記載のキトリ線に沿って切り離し、『モール上端合わせ』部を残して剥がす。
4. ⑨穴あけ位置決めステッカー (A~D) も剥がし、穴周りに出来たバリを取り仕上げる。

### アドバイス

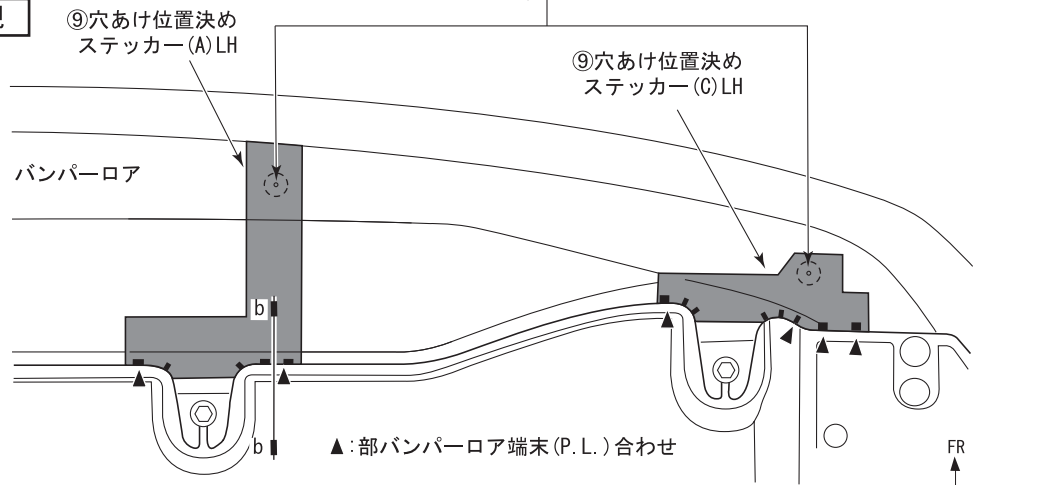
- ・型抜きされている小さい穴を狙って穴あけをして下さい。
- (参考穴径)
- 小さい穴
- ・突き抜け防止の為、ドリル先端から10mmのところ布テープを巻き付けて下さい。



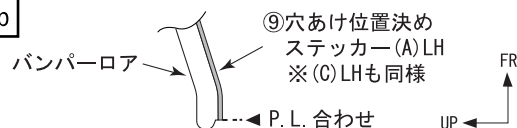
### (E) LH部車両側面視



### (A), (C) 部車両下面視



### Sec. b-b

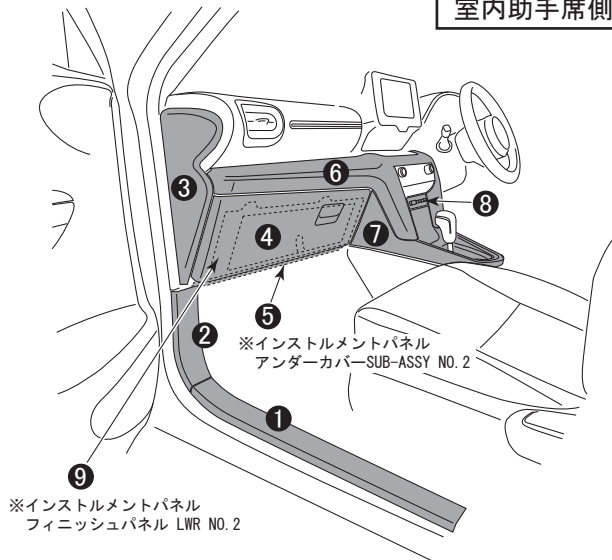


### LH図示

※RHも同様

### (3) 取り付け準備

室内助手席側



□室内の配策作業

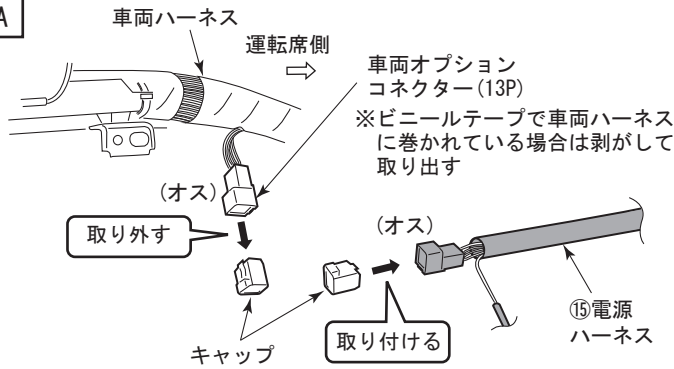
1. 助手席側図示 ■ 部の内装パネルを取り外す。(9カ所)

👉 **アドバイス**

- ・取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。

### (4) 取り付け準備

図A

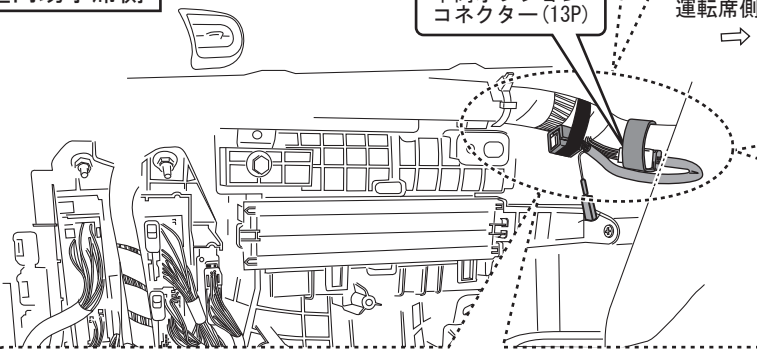


1. 図示位置の車両オプションコネクタのキャップを取り外し、⑮電源ハーネスの13Pコネクタ(オス)に取り付ける。(1カ所、図A)
2. 車両オプションコネクタに⑮電源ハーネスの13Pコネクタ(メス)を接続し、車両ハーネスに⑧クッションシートで図示の要領で固定する。(1カ所、図B)
3. ⑮電源ハーネスの13Pコネクタ(オス)に⑧クッションシートを巻き付ける。(1カ所、図C)
4. ⑮電源ハーネスの13Pコネクタ(オス)を図示の要領で車両ハーネスにビニールテープで固定する。(1カ所、図C)

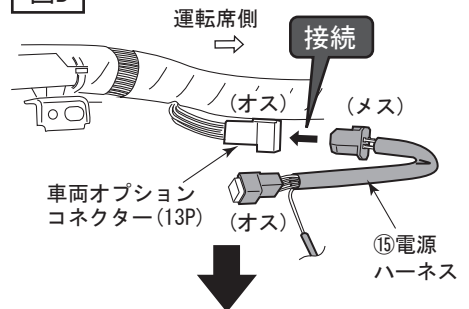
室内助手席側

車両オプションコネクタ(13P)

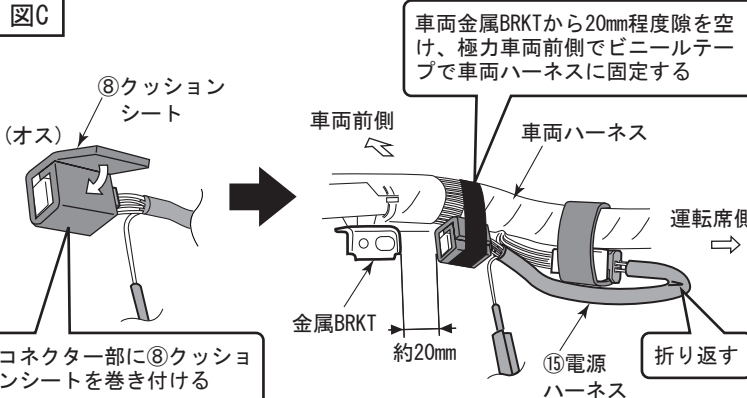
運転席側



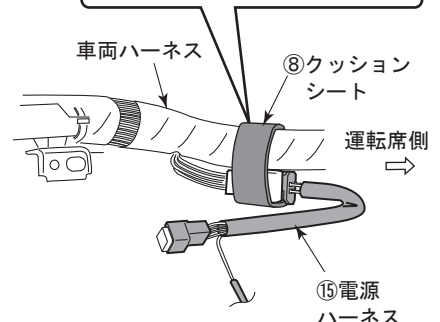
図B



図C



コネクタ接続部を⑧クッションシートで車両ハーネスに巻き付けて固定する

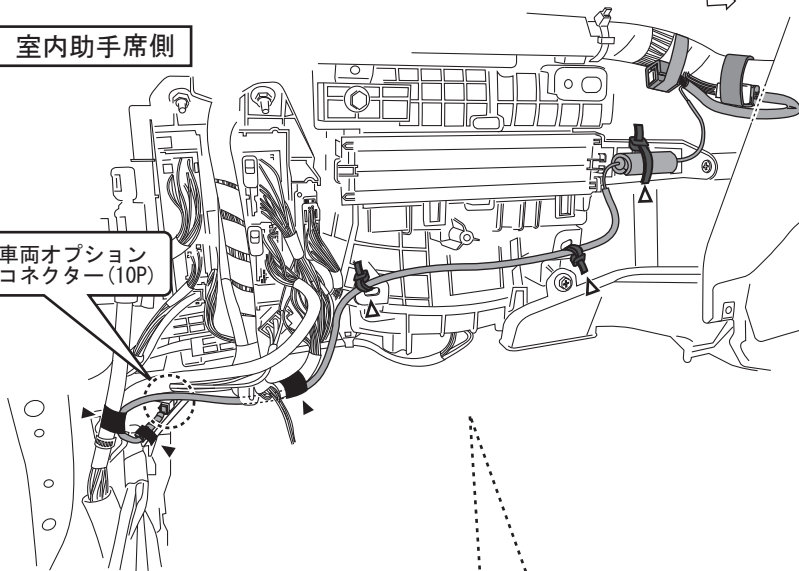


(5) 取り付け準備

室内助手席側

運転席側  
→

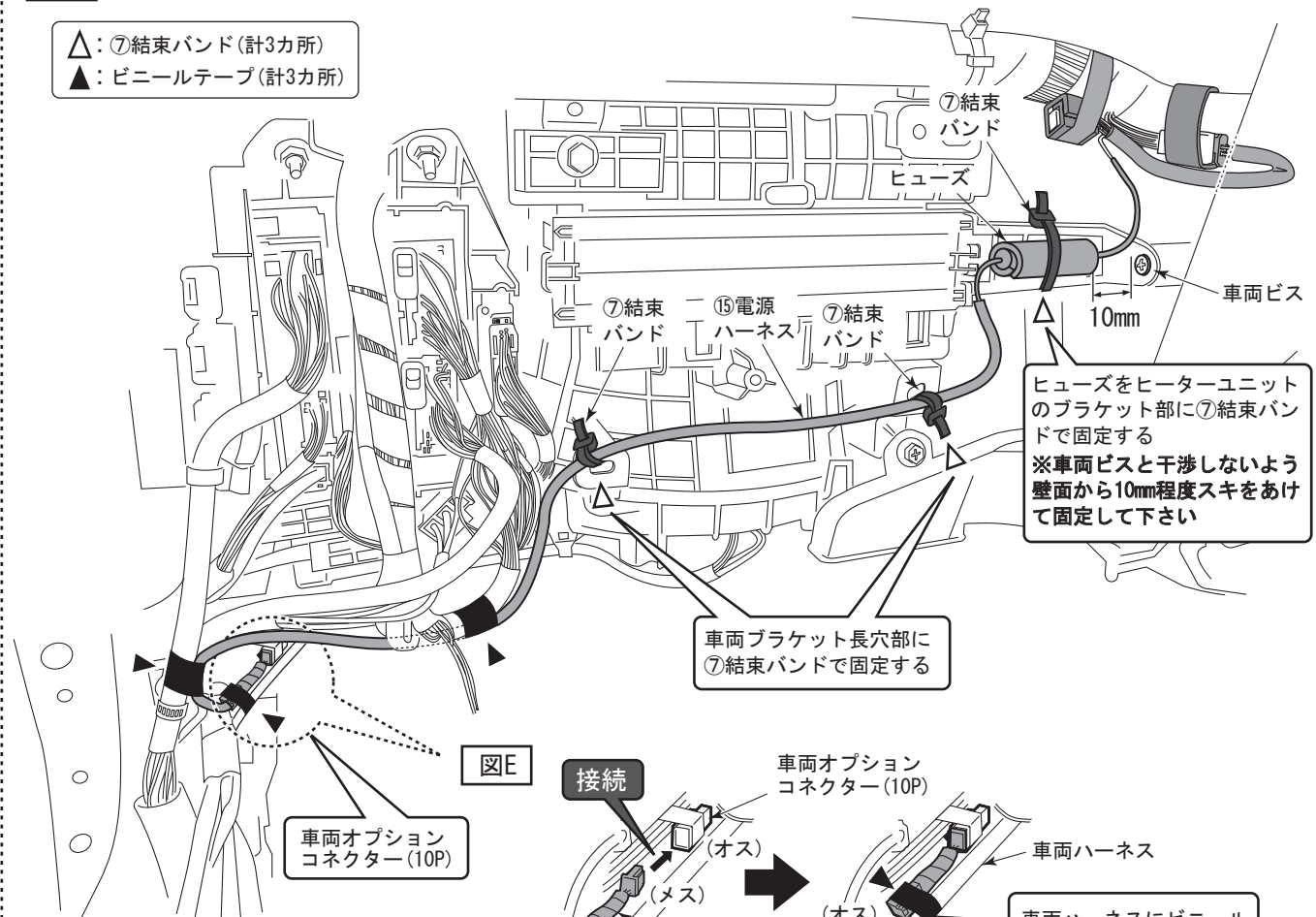
車両オプション  
コネクタ(10P)



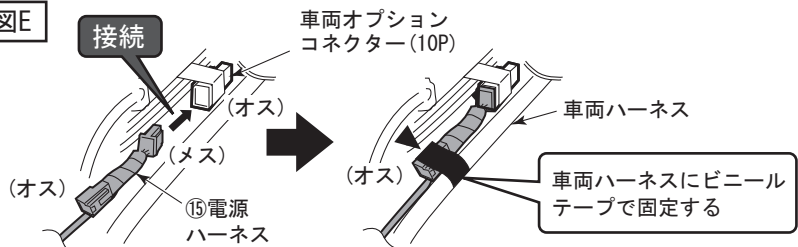
※車両ハーネス無しの場合

図D

- △: ⑦結束バンド(計3カ所)
- ▲: ビニールテープ(計3カ所)



図E



1. ⑮電源ハーネスを図示の要領で配策する。  
※車両ハーネス無しの場合は 図D を、  
※車両ハーネス有りの場合は 図D-2 の通りに⑦結束バンド及びビニールテープで固定する。(計6カ所)
2. 車両オプションコネクタに⑮電源ハーネスの10Pコネクタ(メス)を接続する。(1カ所、図E)
3. 車両ハーネスに⑮電源ハーネスの10Pコネクタ(オス)をビニールテープで固定する。(図E)

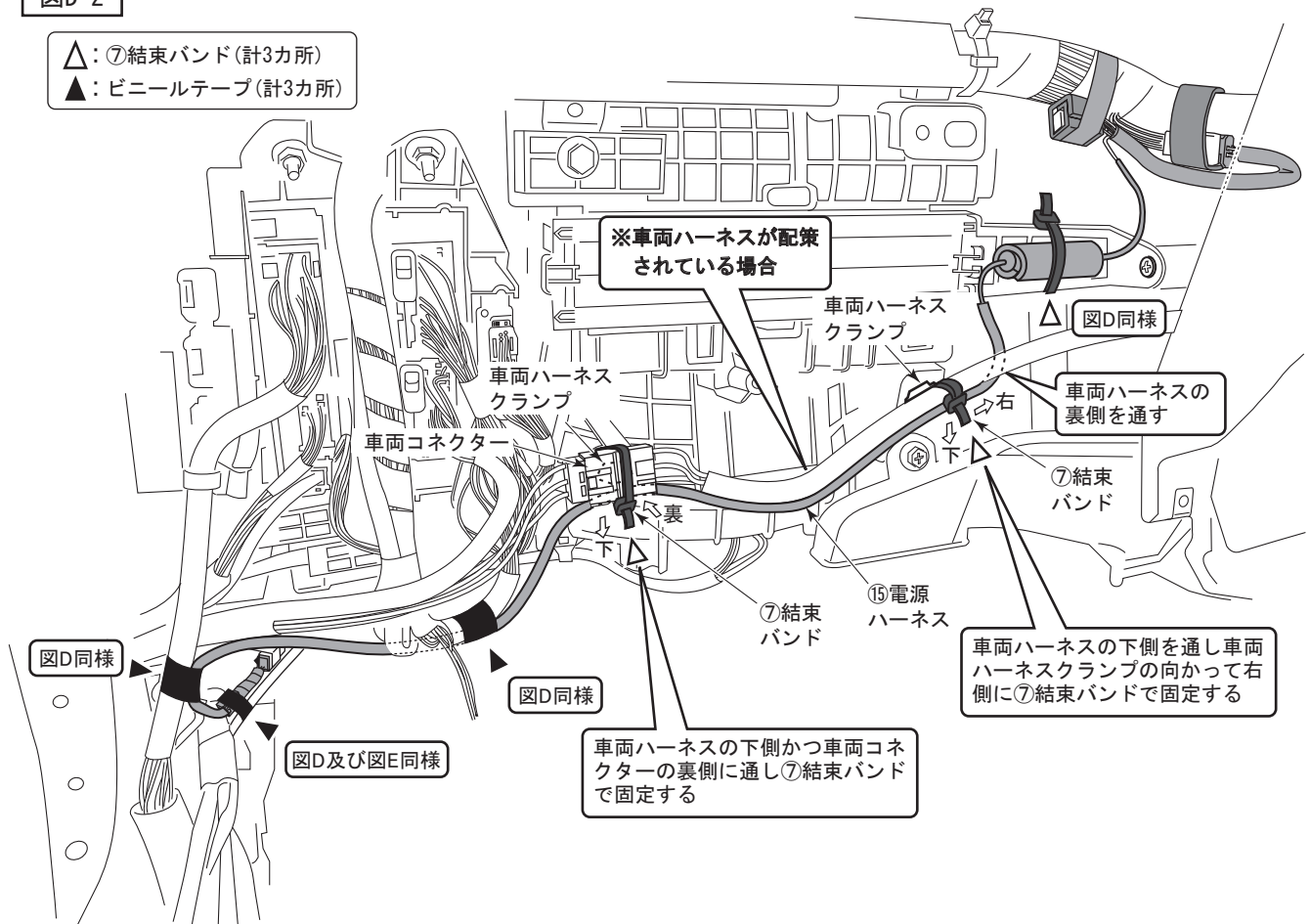
アドバイス

- ・車両仕様の違いにより、一部配策方法が異なります。その場合は次ページの 図D-2 も参照し取り付けを行って下さい。

※車両ハーネス有りの場合

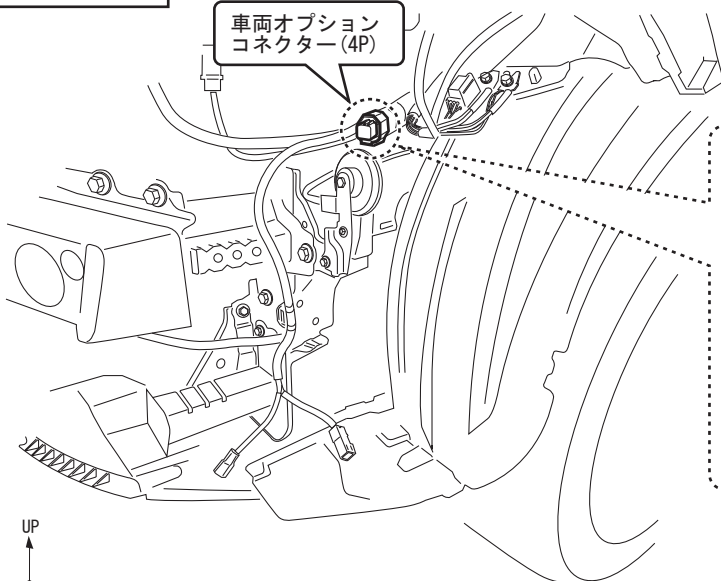
図D-2

- △: ⑦結束バンド (計3カ所)
- ▲: ビニールテープ (計3カ所)



(6) 取り付け準備

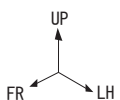
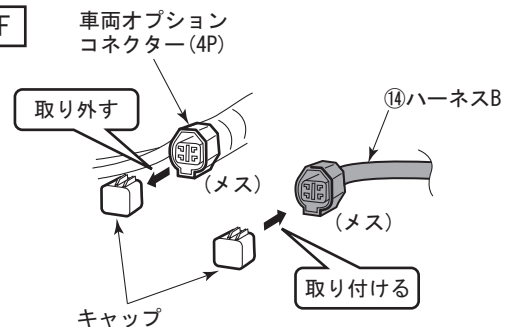
車両左前部



□エンジンルームの配策作業

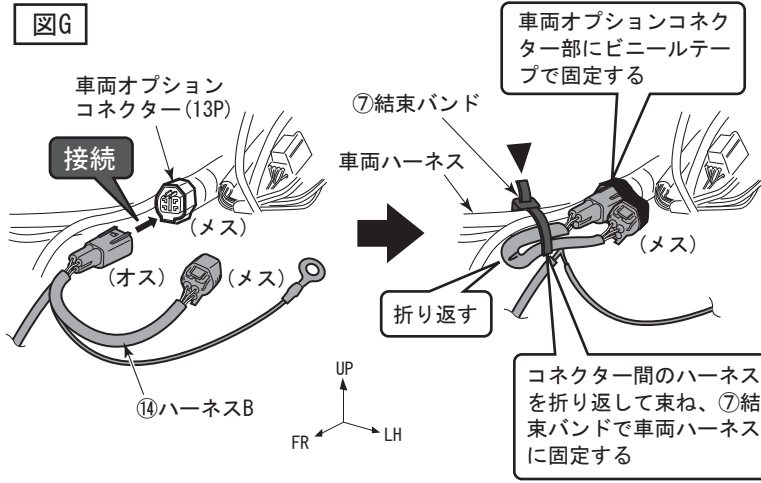
1. 図示位置の車両オプションコネクタのキャップを取り外し、⑭ハーネスBの4Pコネクタ(メス)に取り付ける。(1カ所、図F)

図F



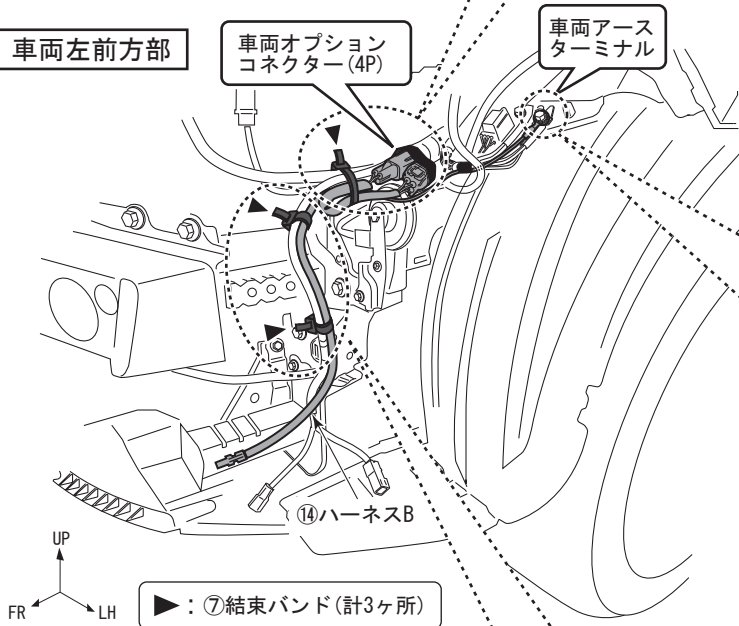
## (7) 取り付け準備

図G

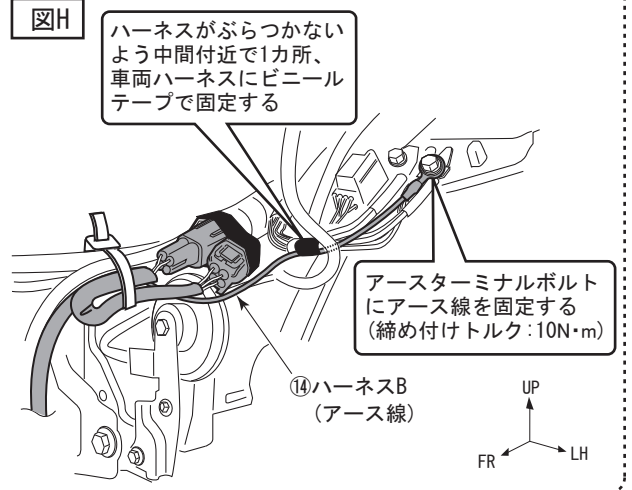


1. 車両オプションコネクタに⑭ハーネスBの4Pコネクタ(オス)を接続し、⑭ハーネスBの4Pコネクタ(メス)は図示の要領で車両オプションコネクタに⑦結束バンド及びビニールテープで固定する。(1カ所、図G)
2. 車両アースターミナルに図示の要領で⑭ハーネスBのアース線を取り付ける。(1カ所、図H)
3. ⑭ハーネスBを車両左側下方に下ろし、図示の要領で車両ハーネスに⑦結束バンドで固定する。(2カ所、図I)

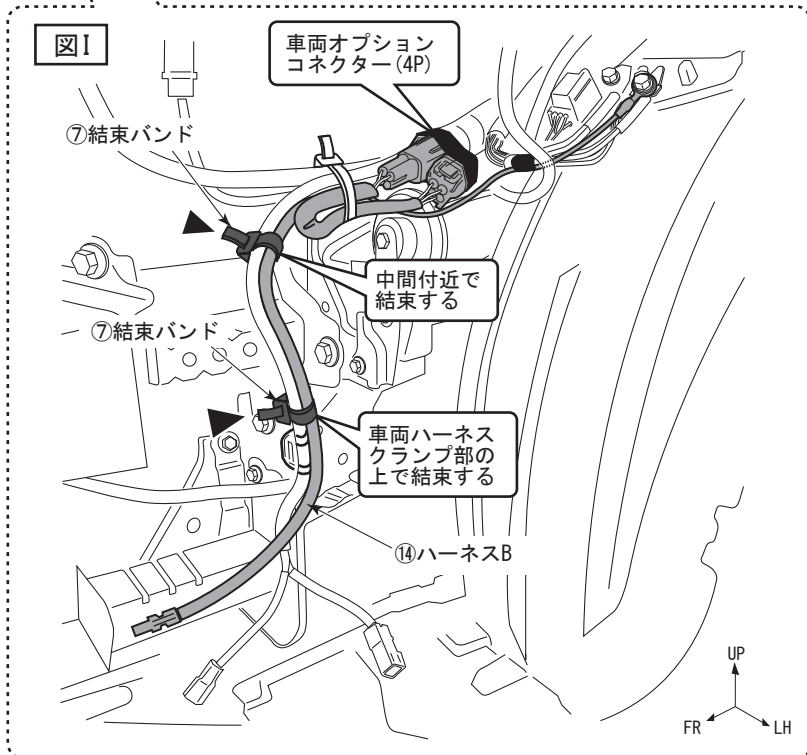
車両左前方部



図H



図I

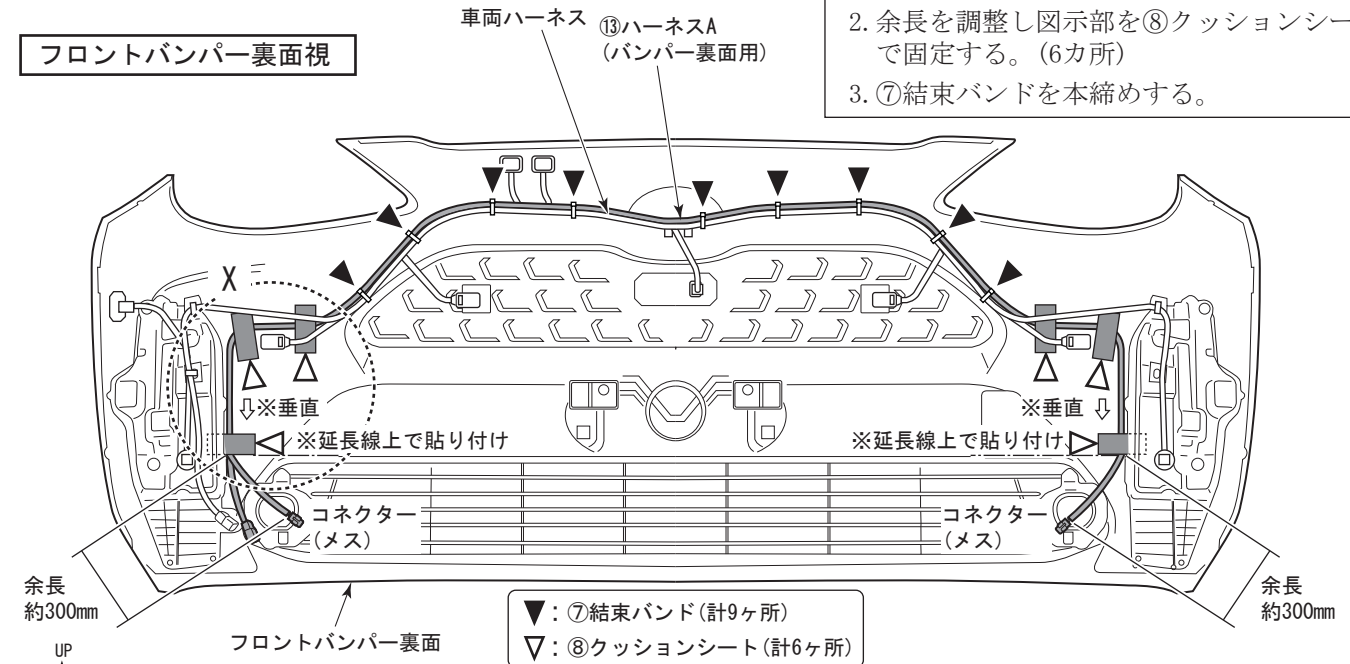


**(8) 取り付け準備**

□フロントバンパー裏面の配策作業

1. 図示のようにフロントバンパー裏側に⑬ハーネスAを車両ハーネスに沿わせて配策し、⑦結束バンドで車両ハーネスのハーネスクランプ部に位置調整出来るよう軽く固定する。(9カ所)
2. 余長を調整し図示部を⑧クッションシートで固定する。(6カ所)
3. ⑦結束バンドを本締めする。

**フロントバンパー裏面視**



**X部詳細図**

※貼り付け部を⑧クッションシートで脱脂する

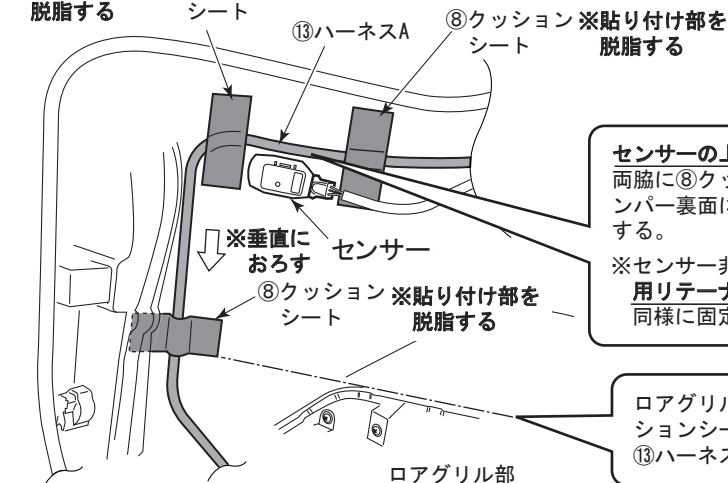
フロントバンパー裏面

UP

LH ← FR

**LH図示**

※RHも同様



センサーの上側を必ず通し、センサーの両脇に⑧クッションシートでフロントバンパー裏面に⑬ハーネスAを貼り付け固定する。

※センサー非装着車の場合は、センサー用リテーナー貼り位置ケガキの上側で同様に固定して下さい。

ロアグリル部上端の延長線上狙いで⑧クッションシートでフロントバンパー裏面に⑬ハーネスAを貼り付け固定する。

**(9) 取り付け準備**

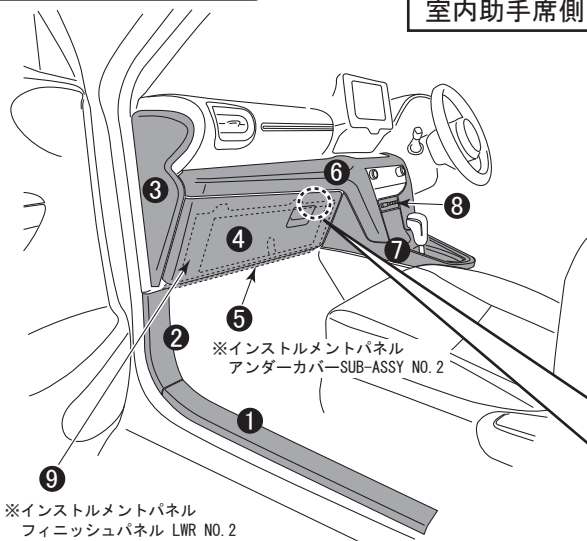
□復元作業

1. 助手席側図示 ■部の内装パネルを復元する。その際⑨と④の部品を一旦先に復元し、(4)-4で固定した図示のコネクター部がグローブボックスの回転軌跡と干渉しないかを確認する。

**アドバイス**

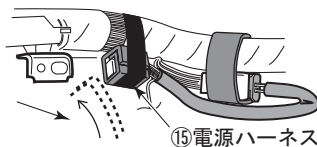
・復元の詳細は、トヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。

**室内助手席側**



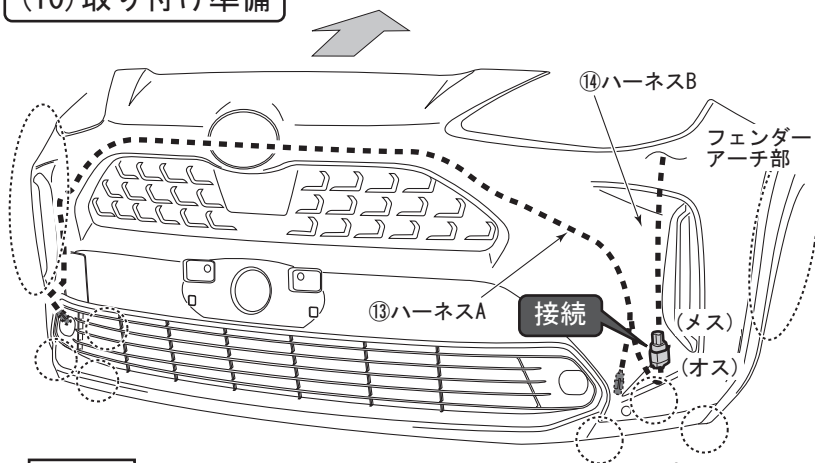
※干渉する場合はコネクターの固定位置をずらす

※グローブボックスを開閉した際、干渉が無いことを確認する

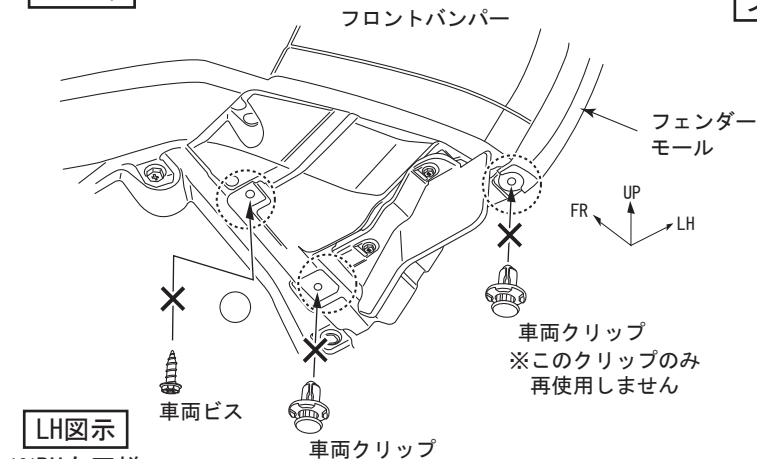


### (10) 取り付け準備

車両に復元する



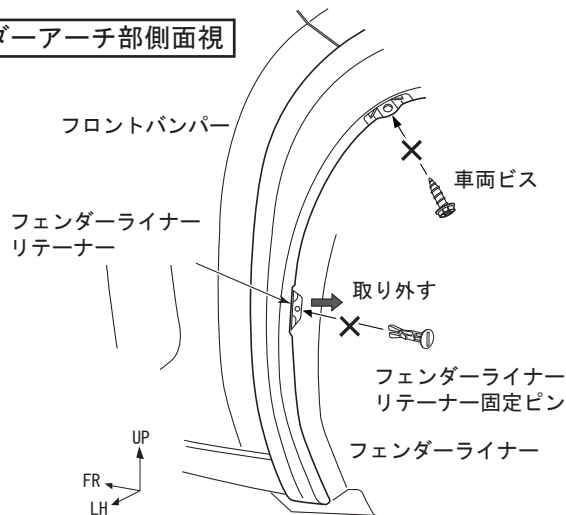
#### 下面部



#### LH図示

※RHも同様

#### フェンダーアーチ部側面視

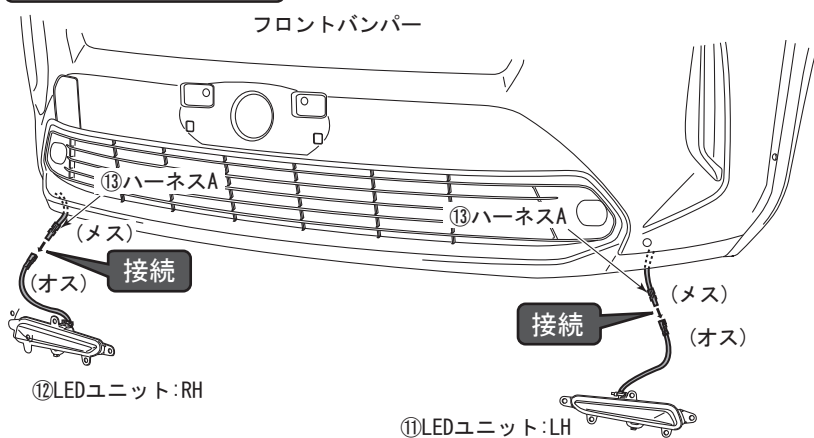


1. 図示位置の⑬ハーネスAの2Pコネクター(オス)と⑭ハーネスBの2Pコネクター(メス)を接続し、フロントバンパー及びフェンダーモールドを復元する。その際、図示フェンダーアーチ及び下面部の車両クリップ及びビスはここでは取り付けないで下さい。

#### アドバイス

- ・復元の詳細は、トヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。
- ・取り外した車両ビス、クリップは一部を除き再使用しますので、紛失しない様ご注意ください。

### (11) 取り付け準備

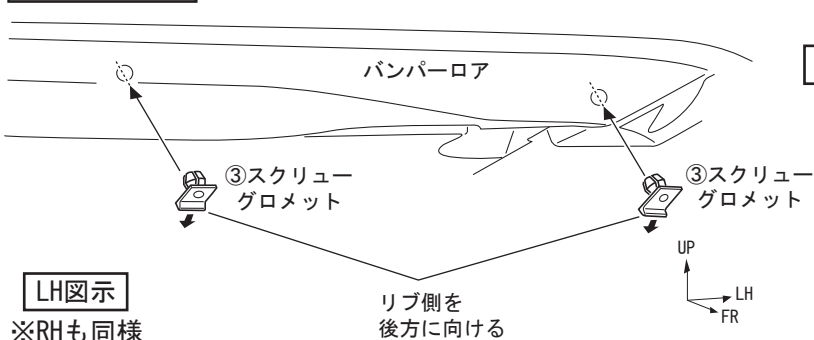


#### 点灯確認作業

1. ⑬ハーネスAの2Pコネクター(メス)をフロントバンパー下面から引き出し、⑪/⑫LEDユニット:LH/RHの2Pコネクター(オス)と接続する。(左右各1カ所 計2カ所)
2. バッテリーの⊖端子を仮接続する。
3. イグニッションONの状態にして、LEDランプが正常に点灯することを確認する。
4. 仮接続したバッテリーの⊖端子を取り外す。
5. (11)-1で接続したコネクターを取り外し、⑬ハーネスAのコネクターはフロントバンパー裏側に戻す。(左右各1カ所 計2カ所)

### (12) 取り付け準備

#### 取付部下面視



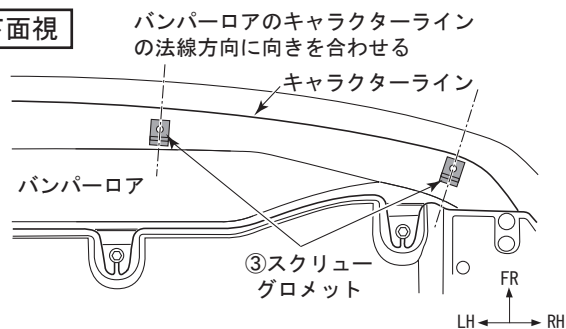
#### LH図示

※RHも同様

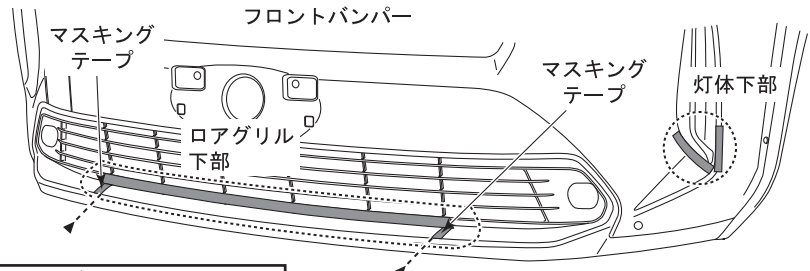
#### フロントスポイラーの取付作業

1. 2-(2)であけたバンパーロア下面の穴に、③スクリーグロメットを左図の要領で取り付ける。(左右各2カ所 計4カ所)

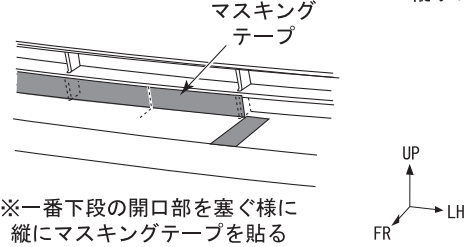
#### 下面視



**(13) 取り付け準備**



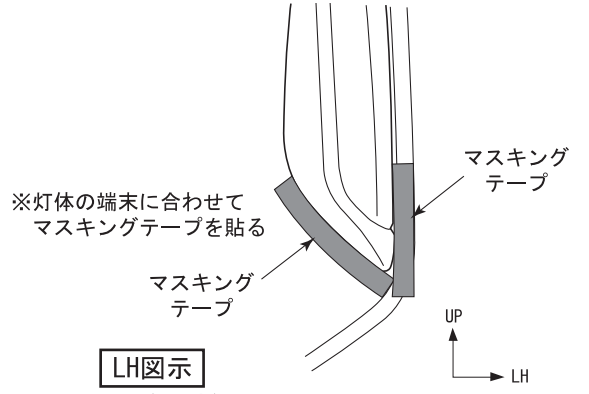
**ロアグリル下部詳細図**



※一番下段の開口部を塞ぐ様に縦にマスキングテープを貼る

1. プライマー塗布の為に、左図の要領でロアグリル下部及びコーナーの灯体下部にマスキングテープでマスキングする。

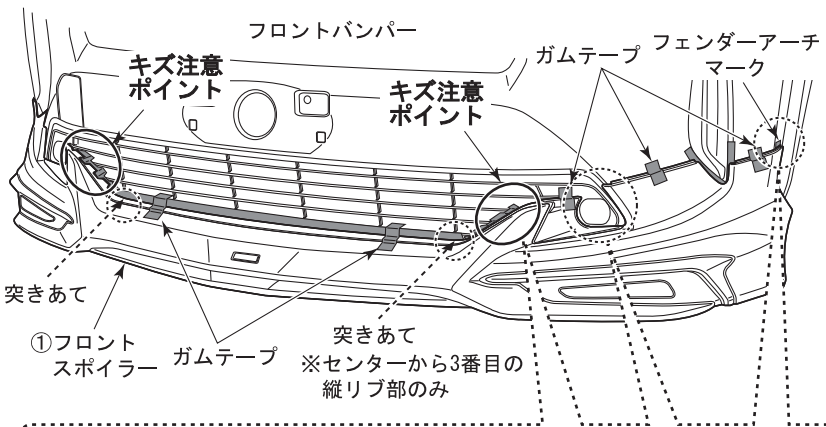
**灯体下部詳細図**



**LH図示**

※RHも同様

**(14) 取り付け準備**

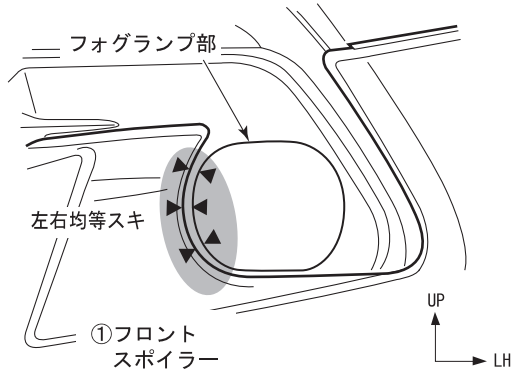


1. 1. ①フロントスポイラー側面のボルト部に穴に差し込み車両に仮あてし、ガムテープで仮固定する。その際、図示○部は左図の要領で合わせを行なう。

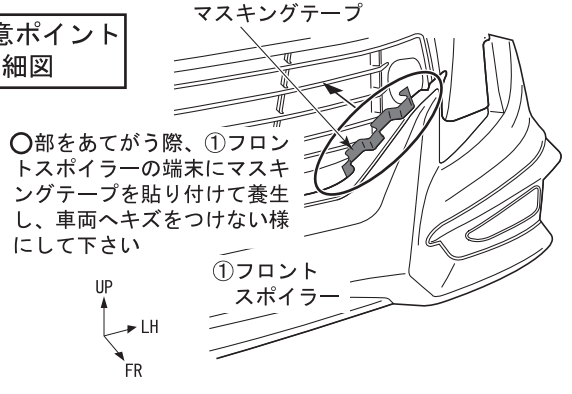
**アドバイス**

- ・位置決めの際、フェンダーモール部の左右のスキを均等にして下さい。
- ・①フロントスポイラーをあてがう際、車両へキズを付けない様に注意して下さい。

**フォグランプ部詳細図**

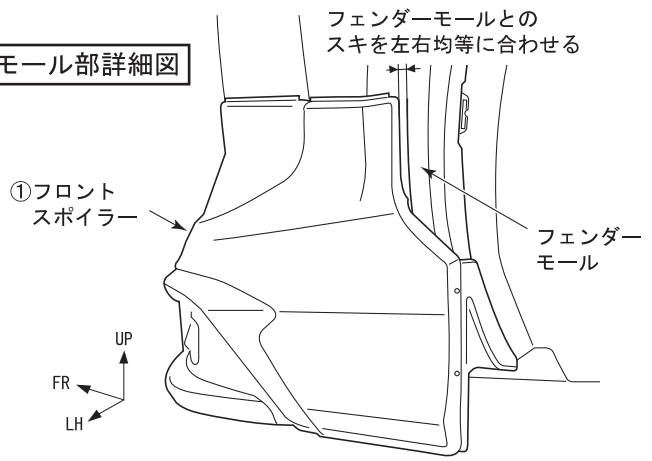


**キズ注意ポイント詳細図**

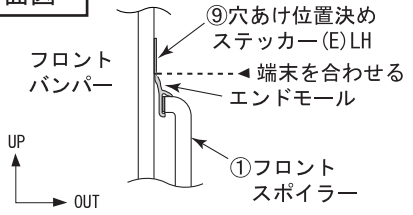


○部をあてがう際、①フロントスポイラーの末端にマスキングテープを貼り付けて養生し、車両へキズをつけない様にして下さい

**フェンダーモール部詳細図**



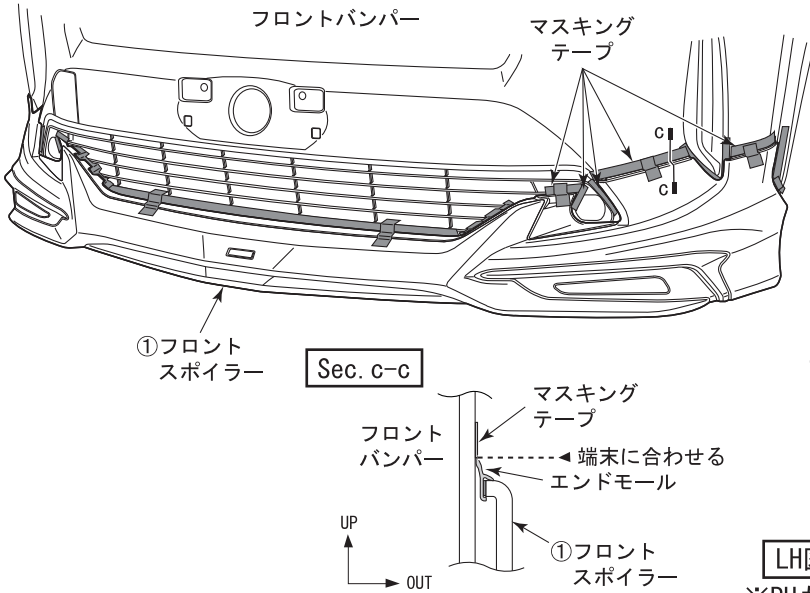
**フェンダーアーチマーク部断面図**



**LH図示**

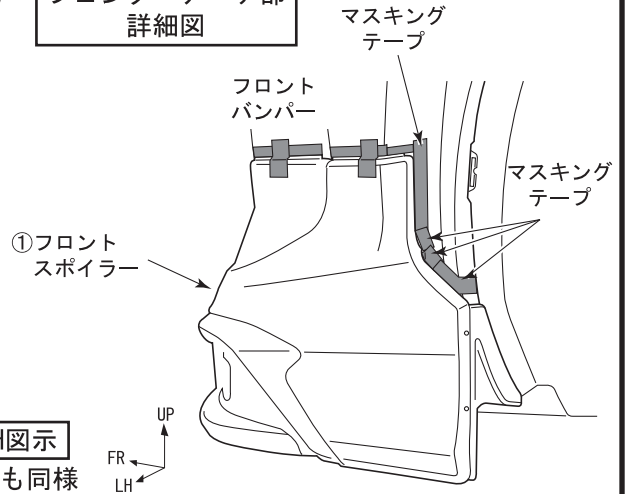
※RHも同様

(15) 取り付け準備



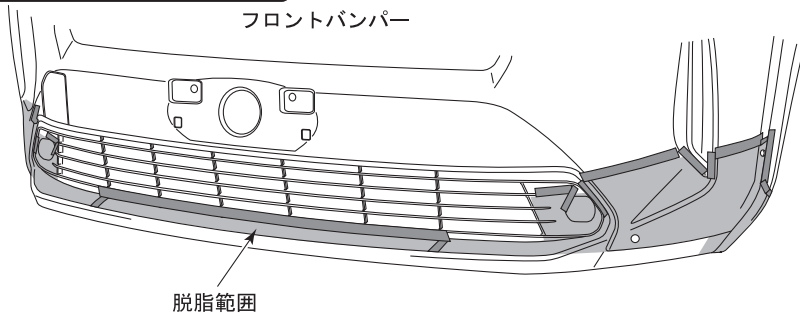
1. プライマー塗布の為に、左図の要領で①フロントスポイラーに貼り付けてあるモール上端及び外周端末に合わせてマスキングテープでマスキングする。
2. ①フロントスポイラーを取り外す。

フェンダーアーチ部  
詳細図



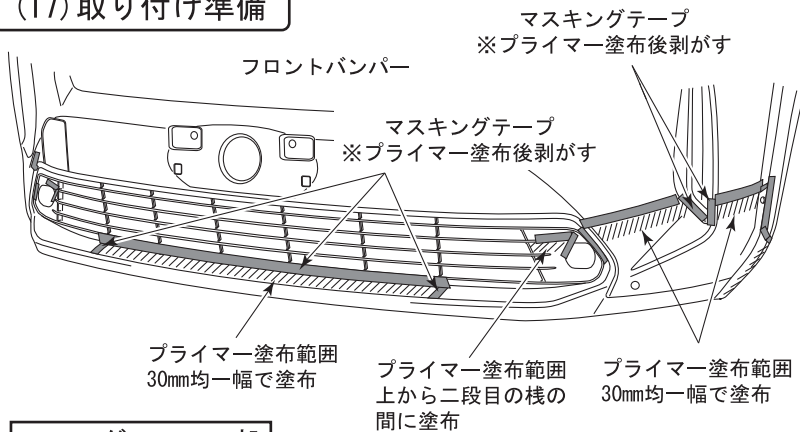
LH図示  
※RHも同様

(16) 取り付け準備



1. 左図 ■ 部を一方方向に拭いて脱脂する。

(17) 取り付け準備

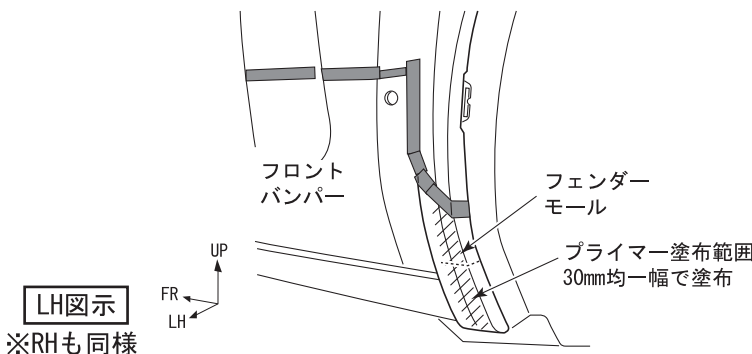


1. 両面テープ貼り付け部（左図斜線部内側30mm幅）に⑩PACプライマー-K-500を塗布する。
2. ⑩PACプライマー-K-500塗布後、①フロントスポイラー取り付け前に貼った図示のマスキングテープを剥がす。それ以外のマスキングテープは①フロントスポイラー取り付け時にマーク及び傷付き防止の養生になるので剥がさないで下さい。

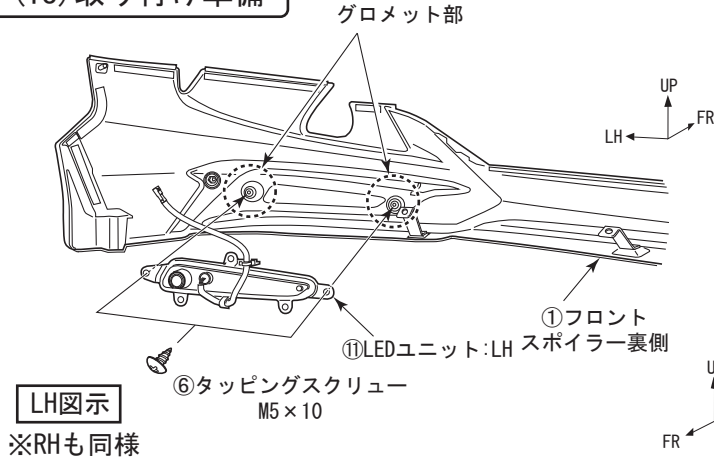
👉 アドバイス

- ・ ⑩PACプライマー-K-500は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・ ⑩PACプライマー-K-500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・ ⑩PACプライマー-K-500塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

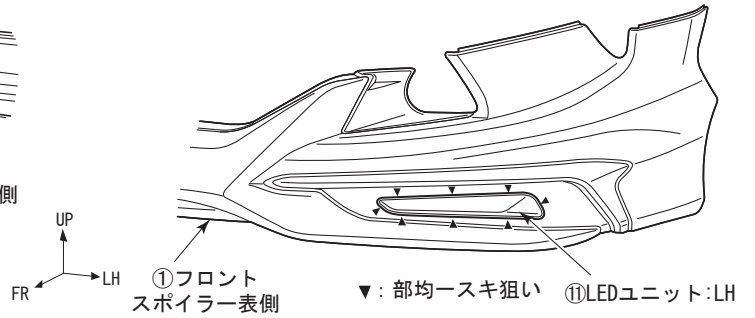
フェンダーモール部  
詳細図



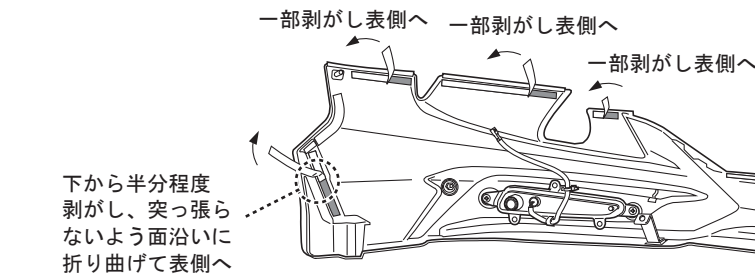
### (18) 取り付け準備



- ⑪LEDユニット:LHを、⑥タッピングスクリューM5×10で①フロントスポイラー裏側の図示グロメット部に固定する。  
(左右各2カ所 計4カ所)

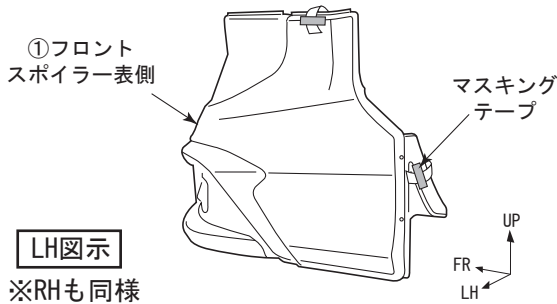


### (19) 取り付け準備

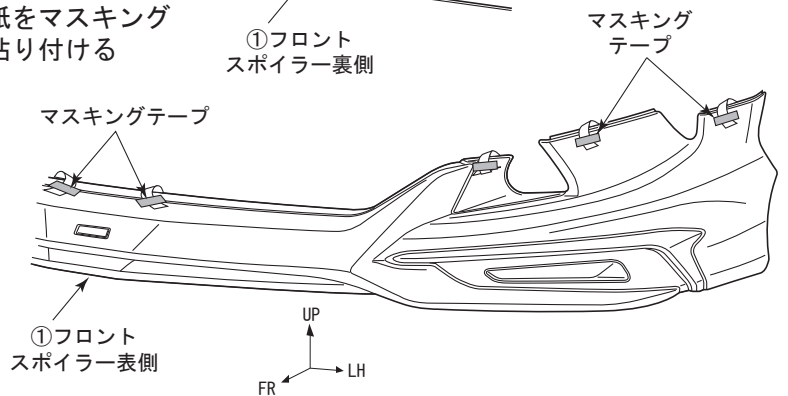


- ①フロントスポイラーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

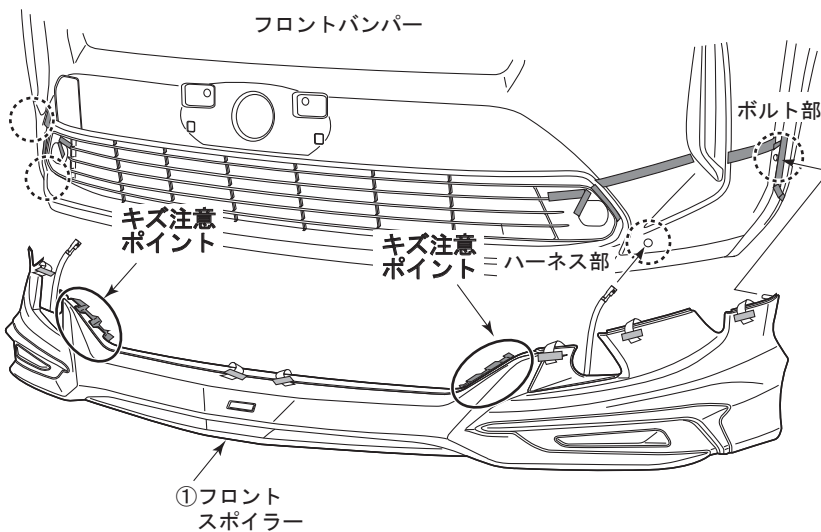
#### ホイールハウス部 詳細図



#### 両面テープ離型紙をマスキングテープで表側に貼り付ける



### (20) 取り付け準備



- ①フロントスポイラー側面のボルト部及び⑪/⑫LEDユニット:LH/RH裏側のハーネスを穴に差し込み、フェンダーアーチのマーク位置に合わせて車両に仮あてする。

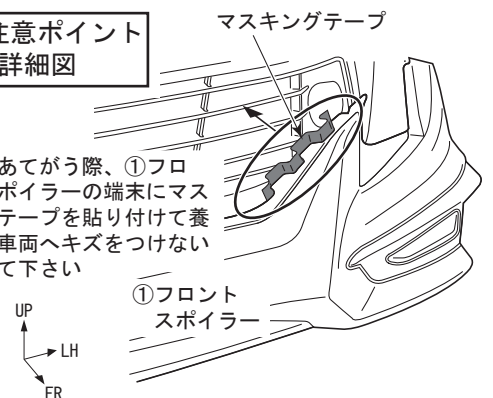
#### アドバイス

- ①フロントスポイラーをあてがう際、車両へキズを付けない様に注意して下さい。

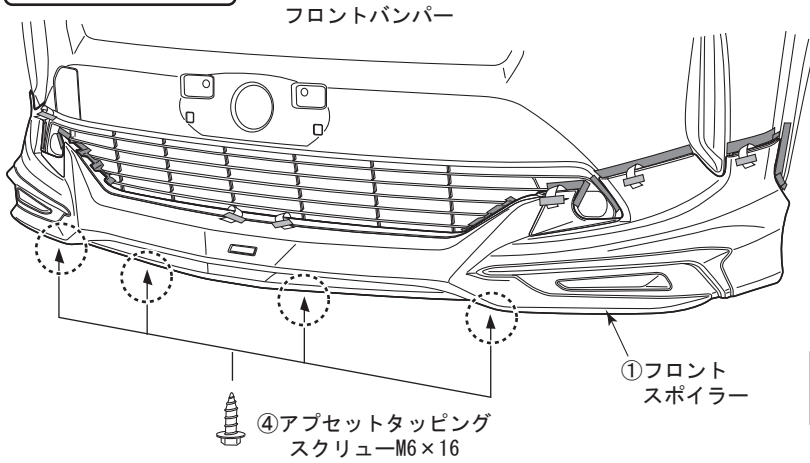
#### キズ注意ポイント 詳細図

- 部をあてがう際、①フロントスポイラーの端末にマスキングテープを貼り付けて養生し、車両へキズをつけない様にして下さい

#### LH図示 ※RHも同様

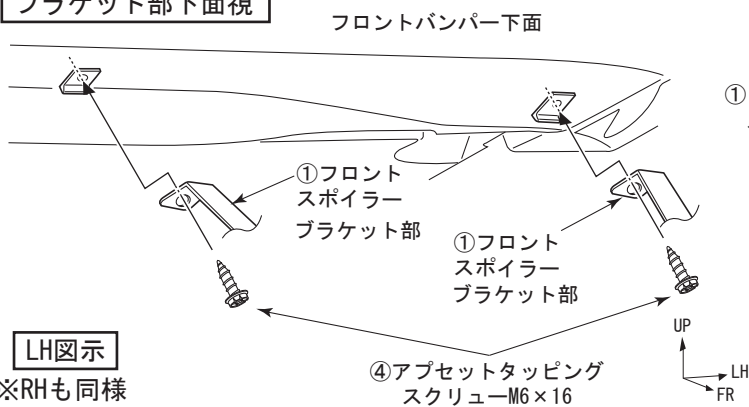


## (21) 取り付け



1. 下面ブラケット部を、④アプセットタッピングスクリューM6×16で仮固定する。  
(左右各2カ所 計4カ所)
2. ①フロントスポイラー側面のボルト部を、フロントバンパー裏側から②クリップナットで本締めする。(左右各1カ所 計2カ所)

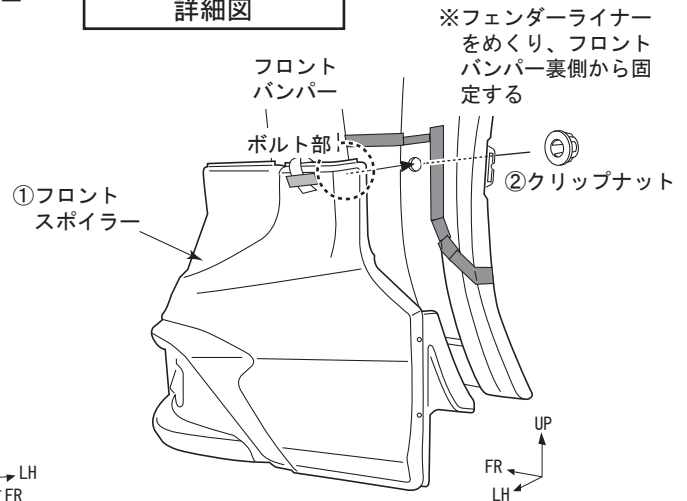
## ブラケット部下面視



## LH図示

※RHも同様

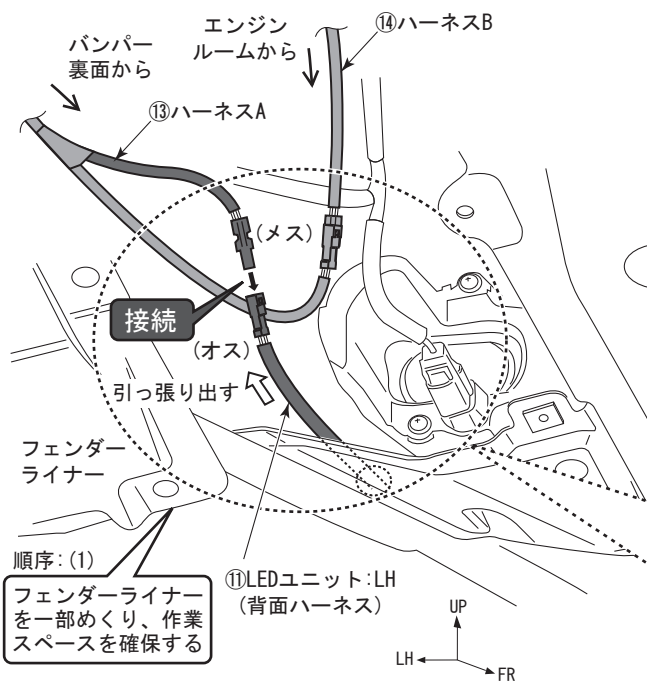
## フェンダーアーチ部 詳細図



※フェンダーライナーをめくり、フロントバンパー裏側から固定する

## (22) 取り付け

## フォグランプ部裏側下面視



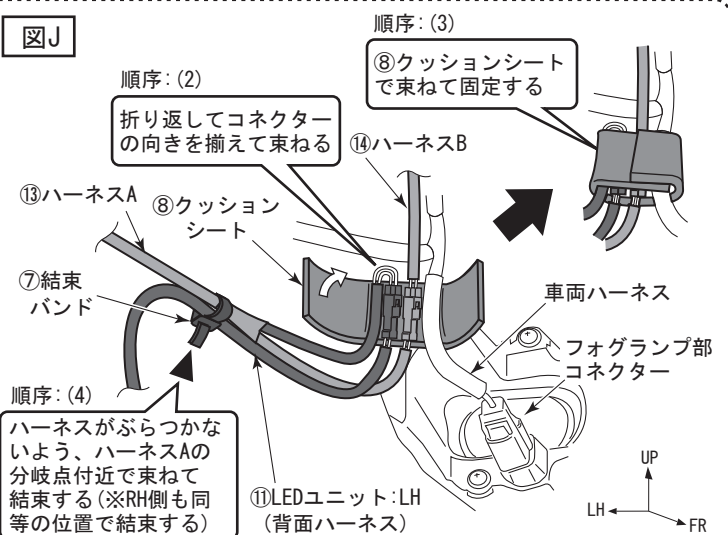
1. フロントバンパー下面、図示部付近のフェンダーライナーを一部めくり、フォグランプ部の裏がのぞける状態にする。
2. ⑬ハーネスAの2Pコネクタ(メス)と⑪LEDユニット:LHの2Pコネクタ(オス)を接続する。(左右各1カ所 計2カ所)
3. (10)-1及び(22)-2で接続したコネクタを束ね、車両フォグランプ部背面の車両ハーネスに⑧クッションシートでぶらつかないように固定する。  
(図J、左右各1カ所 計2カ所)
4. ⑬ハーネスAと⑪LEDユニット:LHのハーネスを、ぶらつかないように⑦結束バンドで固定する。(図J、左右各1カ所 計2カ所)

順序:(1)  
フェンダーライナーを一部めくり、作業スペースを確保する

## LH図示

※RH側は、⑬ハーネスAの2Pコネクタ(メス)と、⑫LEDユニット:RHの2Pコネクタ(オス)を接続したコネクタのみを⑧クッションシートで車両ハーネスに固定した後、順序4の結束バンドの固定を行う。

## 図J



順序:(2)  
折り返してコネクタの向きを揃えて束ねる

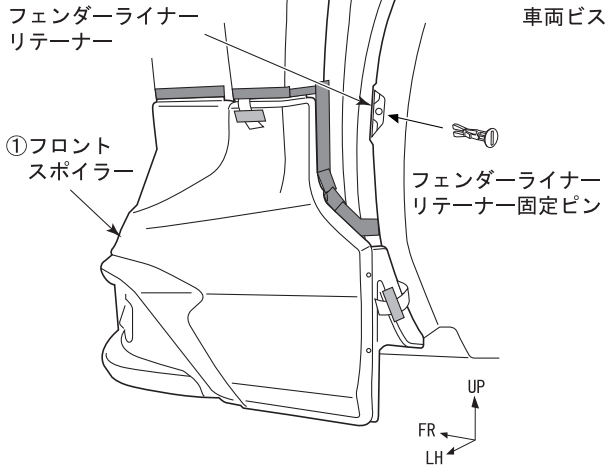
順序:(3)

⑧クッションシートで束ねて固定する

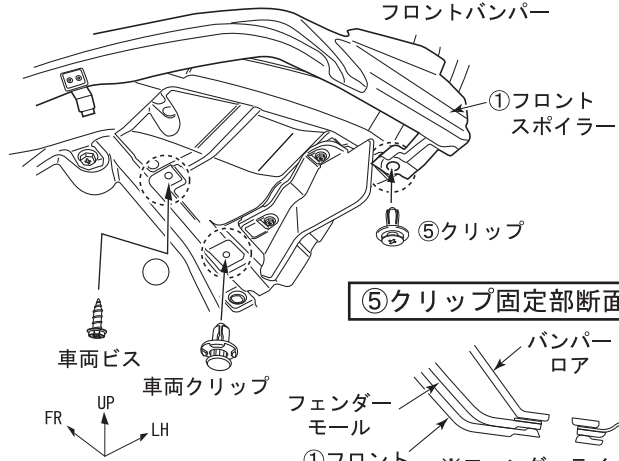
順序:(4)  
ハーネスがぶらつかないように、ハーネスAの分岐点付近で束ねて結束する(※RH側も同等の位置で結束する)

### (23) 取り付け

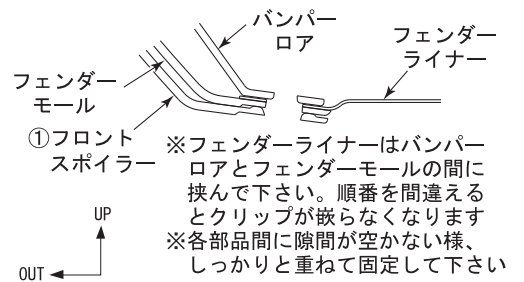
#### フェンダーアーチ部側面視



#### 後端下面部



#### ⑤クリップ固定部断面図

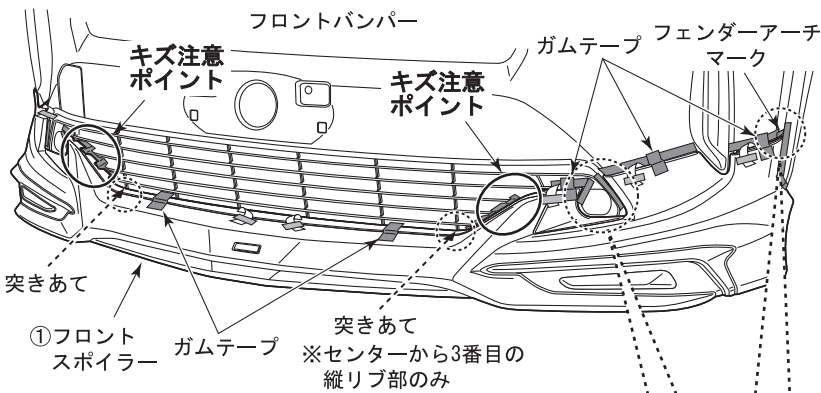


#### LH図示

※RHも同様

1. 車両フェンダーアーチ折り返し上部を車両ビスで固定する。(左右各1カ所 計2カ所)
2. 車両フェンダーアーチ折り返し部のフェンダーライナーリテーナーを復元する。(左右各1カ所 計2カ所)
3. 後端下面部の車両ビス及びクリップを復元する。(左右各2カ所 計4カ所)
4. フロントスポイラー後端下面部を⑤クリップで固定する。(左右各1カ所 計2カ所)

### (24) 取り付け

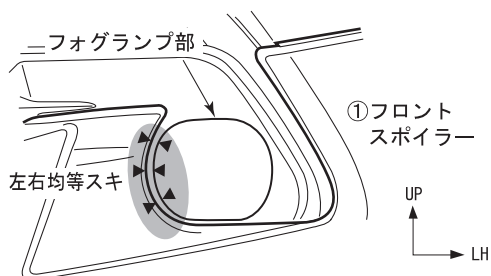


1. ①フロントスポイラーを車両にガムテープで仮固定する。その際、図示の部は左図の要領で合わせを行なう。
2. ①フロントスポイラーに貼り付けた、キズ注意ポイントのマスキングテープを剥がす。

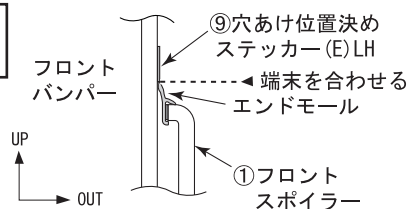
#### アドバイス

- ・位置決めの際、フェンダーモール部の左右のスキを均等にして下さい。
- ・位置決めの際、車両へキズを付けない様に注意して下さい。

#### フォグランプ部詳細図



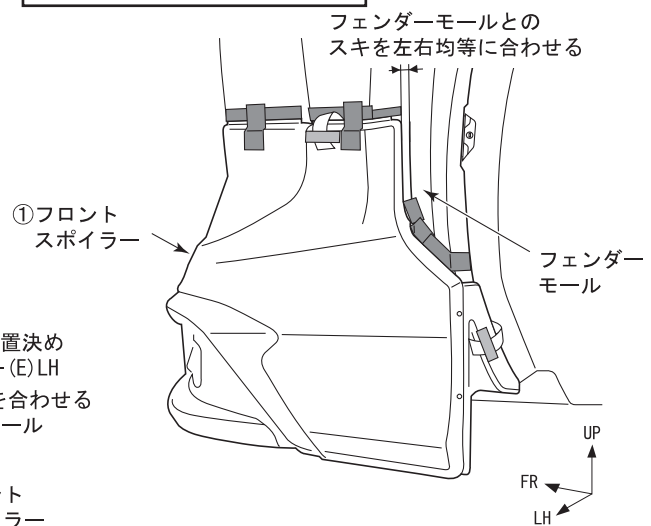
#### フェンダーアーチマーク部断面図



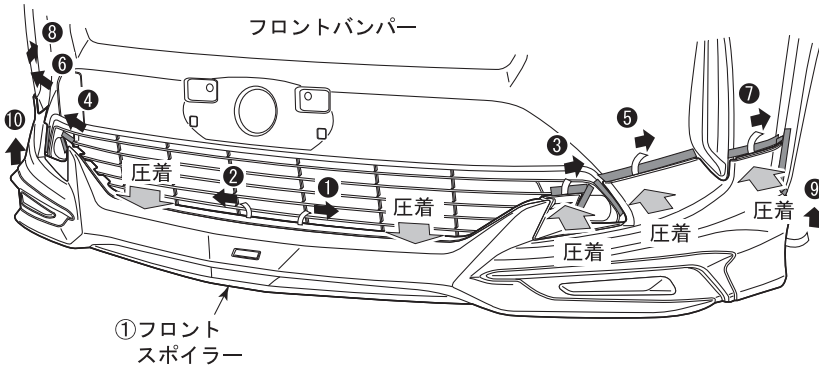
#### LH図示

※RHも同様

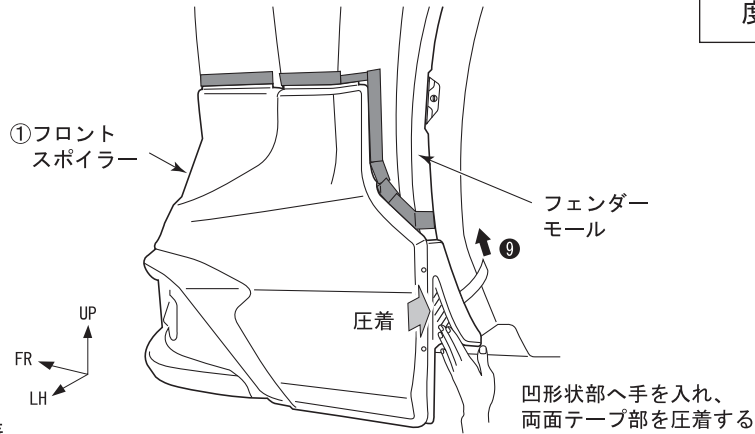
#### フェンダーモール部詳細図



## (25) 取り付け



### フェンダーモール部詳細図



1. 両面テープ離型紙を図示①～⑩の順に引き抜きながら圧着する。

### アドバイス

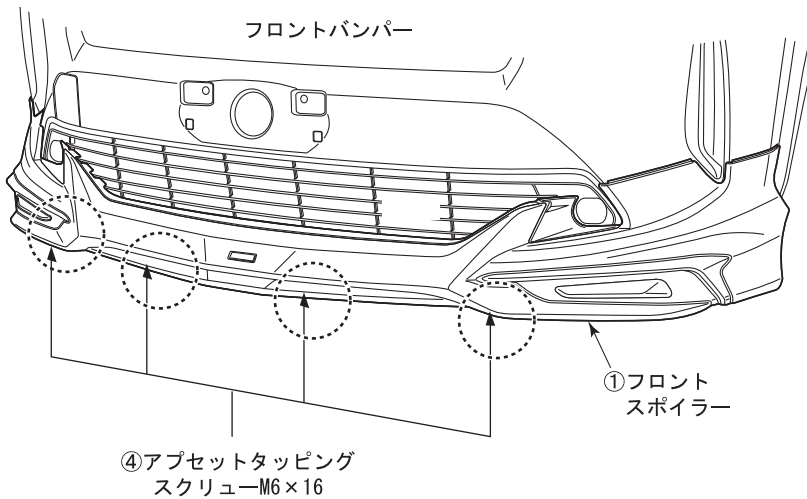
- ・両面テープの圧着力は49N(5kgf)以上で行なって下さい。

2. 全体圧着後、フェンダーモール部は図示の要領で再圧着する。
3. 全てのマスキングテープ及びマークを剥がす。
4. バッテリーの⊖端子を接続する。

### 重要

5. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、再度圧着する。

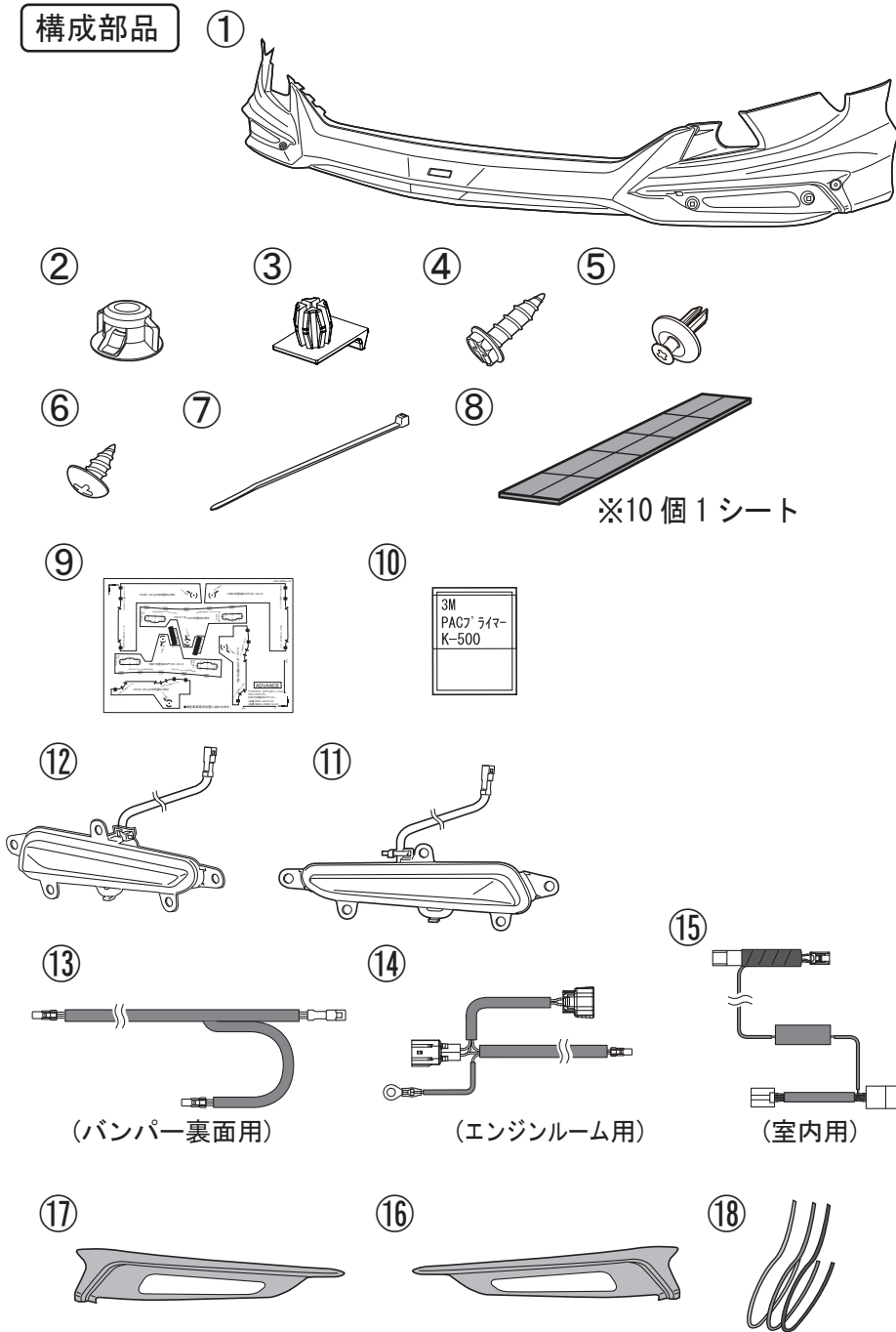
## (26) 取り付け



1. 全ての両面テープ接着面を3時間後に全て再圧着する。
2. 全てのビスを本締めする。(4カ所)

# フロントスポイラー素地品の塗装手順

## 構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	クリップナット	4
③	スクリューグロメット	4
④	アプセットタッピングスクリューM6×16	4
⑤	クリップ	2
⑥	タッピングスクリューM5×10	4
⑦	結束バンド	17
⑧	クッションシート	10
⑨	穴あけ位置決めステッカー	1
⑩	PACプライマーK-500	1
⑪	LEDユニット:LH	1
⑫	LEDユニット:RH	1
⑬	ハーネスA	1
⑭	ハーネスB	1
⑮	電源ハーネス	1
⑯	ガーニッシュ:LH	1
⑰	ガーニッシュ:RH	1
⑱	エンドモール	ライトグレー: 1 ダークグレー: 1 黒: 1
⑲	エンブレムプレート	1
⑳	マスキングシール	1セット

## ⑱ エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
070	ホワイトパール0S	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1L0	シルバーメタリック	ダークグレー
1L6	マッシュグレー	黒
209	ブラックマイカ	黒
3T3	センシユアルレッドマイカ	黒
4V6	ベージュ	ダークグレー
5C2	プラスゴールドメタリック	黒
8W2	グレイッシュブルー	ダークグレー
8W7	ダークブルーマイカメタリック	黒

## (1) 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。

### アドバイス

- ・脱脂は手早く行ない、十分溶剤を揮発させてから次の作業を行なって下さい。
- ・もし、ペーパー等で素材を研磨する場合は、必ずペーパーの番手を#600以上で完了して下さい。

2. 製品に取り付けてある両面テープ、発砲ゴム、サイドインナー部をマスキングする。

3. **上塗り塗装を行なう。(本品の材質はABSです。)**

注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。

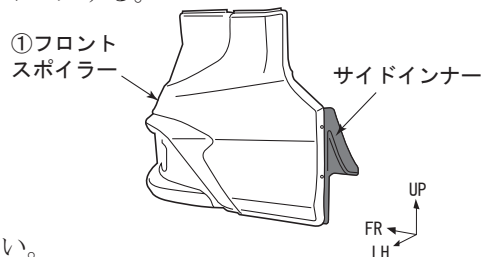
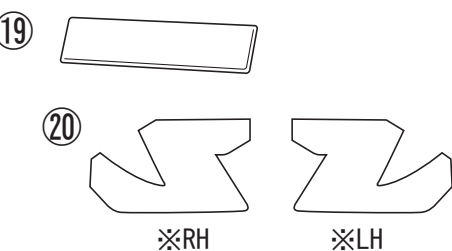
4. 図示部をブラックに塗装する際は、図示要領でマスキングする。

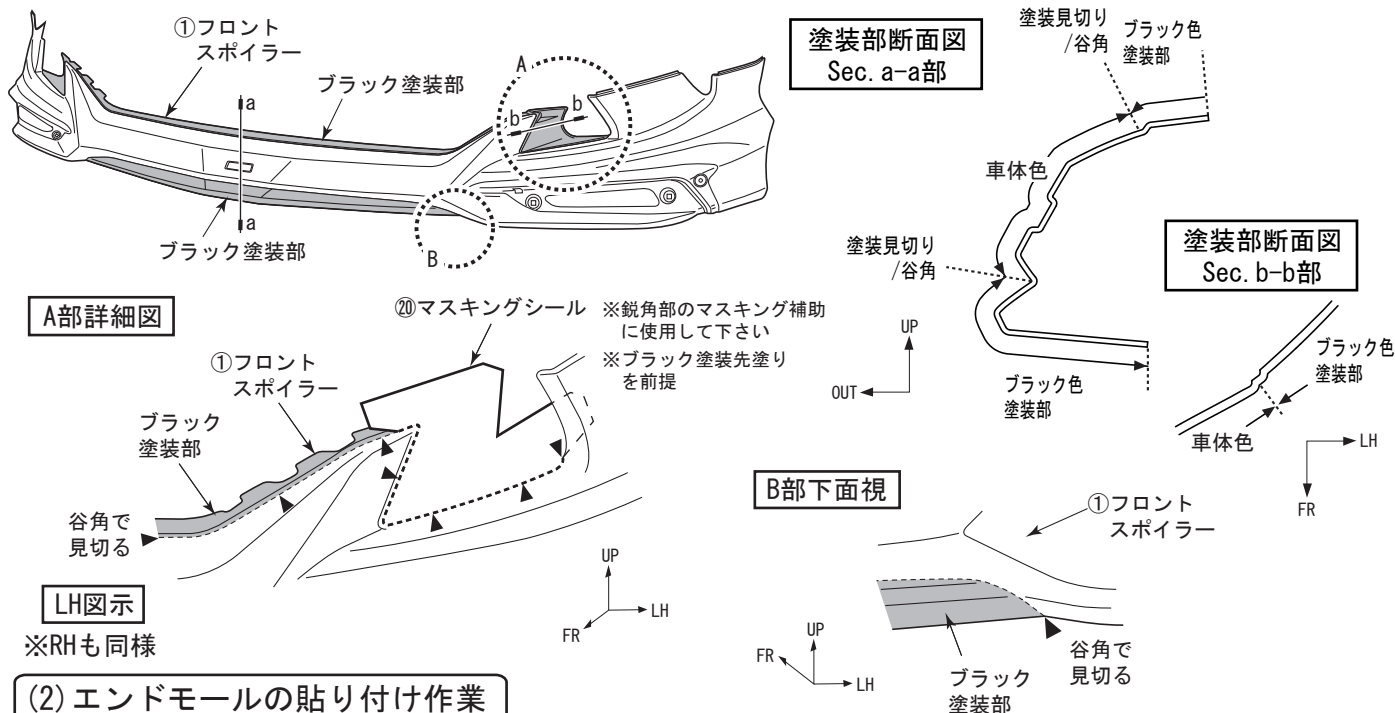
※ブラック塗装はブラックマイカ〈209〉で塗装して下さい。

本体塗装色がブラックマイカ〈209〉の際は、つや消しブラックで塗装して下さい。

5. 乾燥

注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。





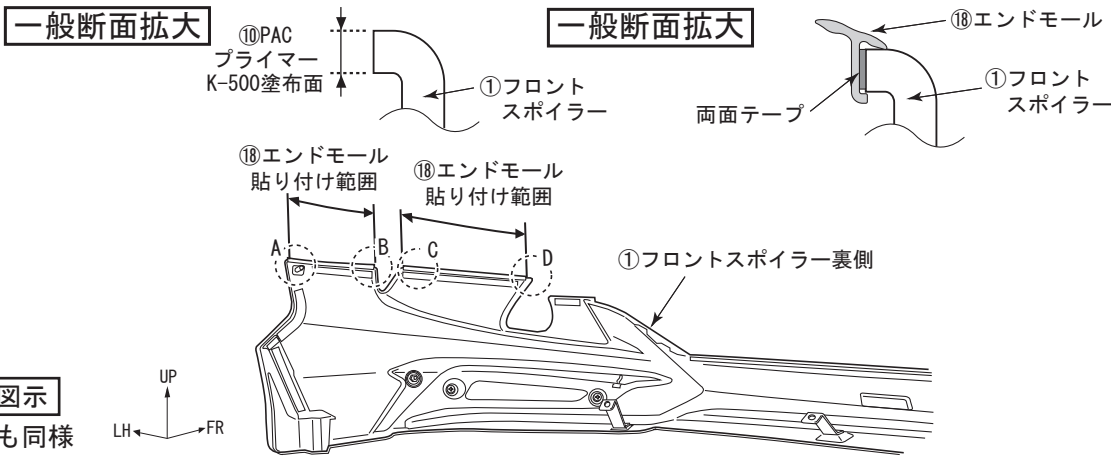
**(2) エンドモールの貼り付け作業**

1. 塗装終了後、⑱エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑩PACプライマー-K-500を塗布する。

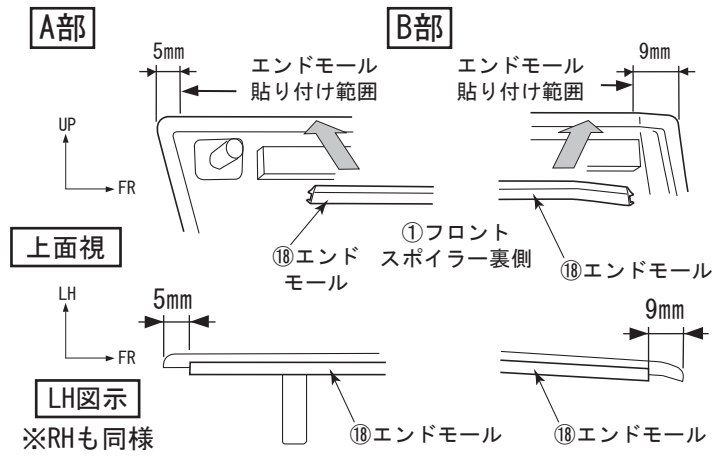
**アドバイス**

- ・⑩PACプライマー-K-500は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・⑩PACプライマー-K-500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・⑩PACプライマー-K-500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

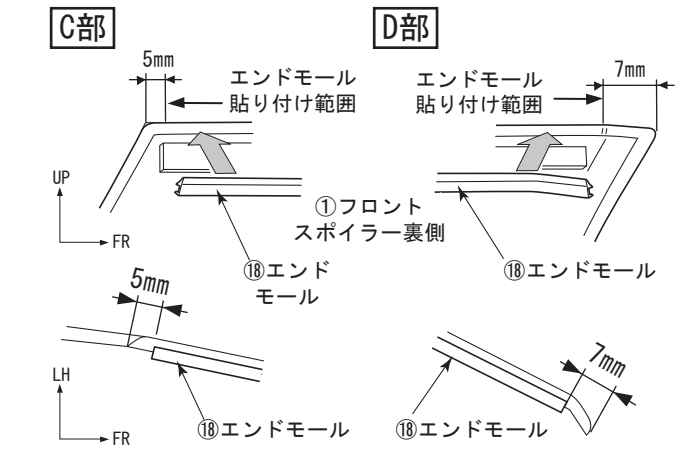
2. 下図の要領で⑱エンドモールを貼り付ける。



**A/B部詳細図**

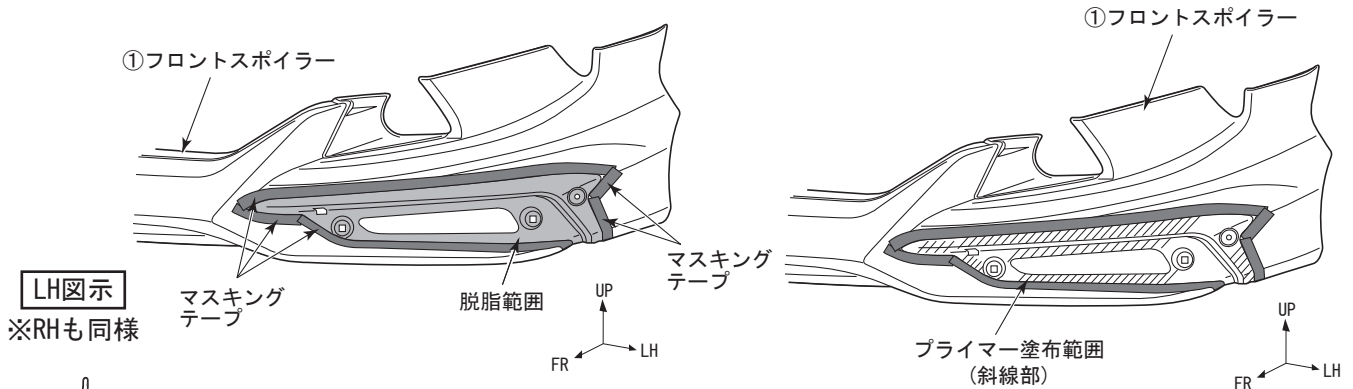


**C/D部詳細図**



### (3) ガーニッシュの取り付け作業

- ⑩ガーニッシュ:LH取付時の傷付き防止とプライマー塗布の為、①フロントスポイラーの図示位置にマスキングテープでマスキングする。
- 下図 ■ 部を一方向に拭いて脱脂する。
- 図示部に⑩PACプライマー-K-500を塗布する。  
※塗布後もマスキングテープは剥がさないで下さい。



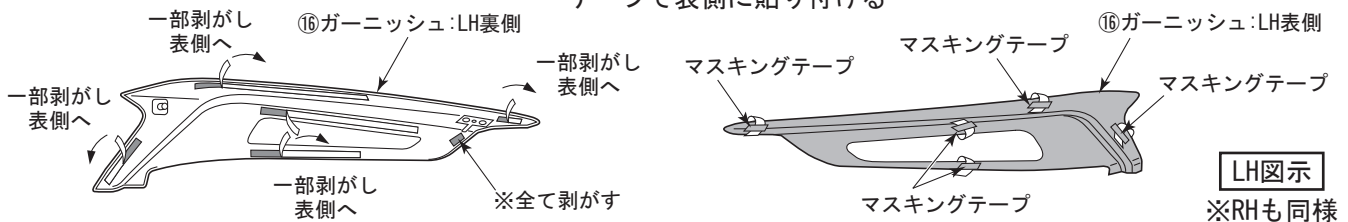
LH図示  
※RHも同様

#### アドバイス

- ⑩PACプライマー-K-500は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ⑩PACプライマー-K-500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ⑩PACプライマー-K-500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

- ⑩ガーニッシュ:LH裏側の両面テープ離型紙を一部めくり、表側へマスキングテープで固定する。

#### 両面テープ離型紙をマスキングテープで表側に貼り付ける

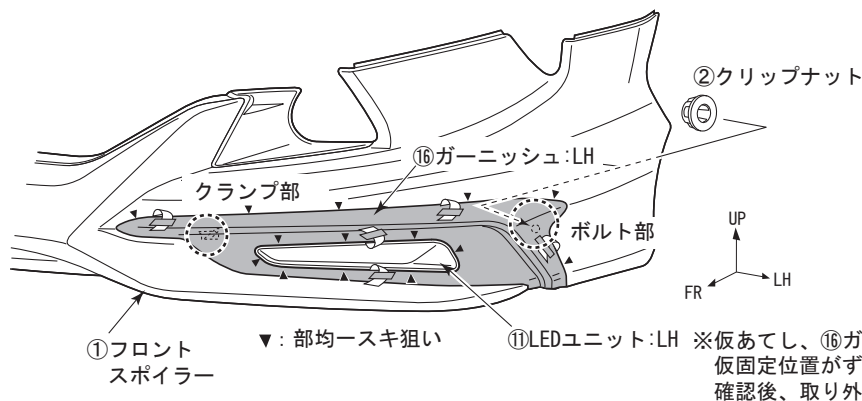


LH図示  
※RHも同様

- ⑩ガーニッシュ:LHを①フロントスポイラーへクランプ部とボルト部を差し込みながら位置を合わせてあてがい、ボルト部を②クリップナットで仮固定する。(1カ所)  
この際、⑪LEDユニット:LHを①フロントスポイラー裏側に固定点を合わせて仮あてし、⑩ガーニッシュ:LHの仮固定位置がずれていないことを確認する。

#### アドバイス

- クランプ部とボルト部を差し込む際、①フロントスポイラーへキズを付けない様に注意して下さい。



LH図示  
※RHも同様

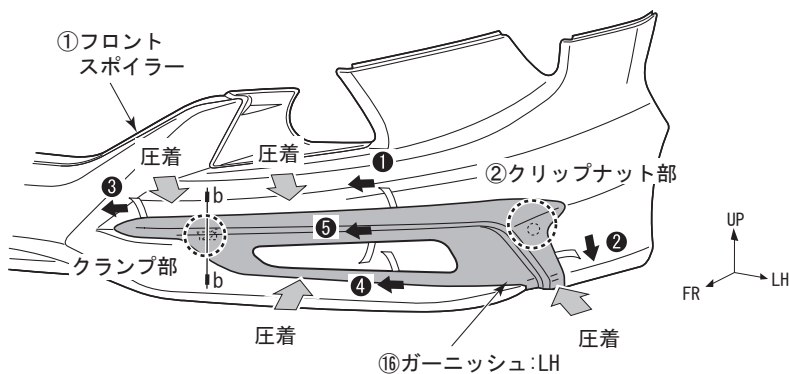
※仮あてし、⑩ガーニッシュ:LHの仮固定位置がずれていないことを確認後、取り外す

- ⑩ガーニッシュ:LHの両面テープ離型紙を図示①～④の順に抜き取りながら圧着する。
- ②クリップナットを本締めし、図示の要領でクランプを折り曲げ固定する。

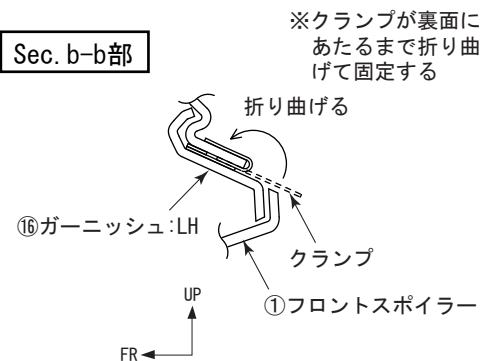


### アドバイス

- ・両面テープの圧着力は49N(5kgf)以上で行なって下さい。
- ・圧着は表面と裏面より挟み込むようにして確実に圧着して下さい。



### Sec. b-b部

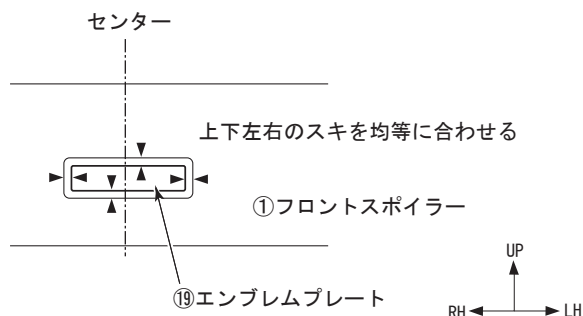


### LH図示

※RHも同様

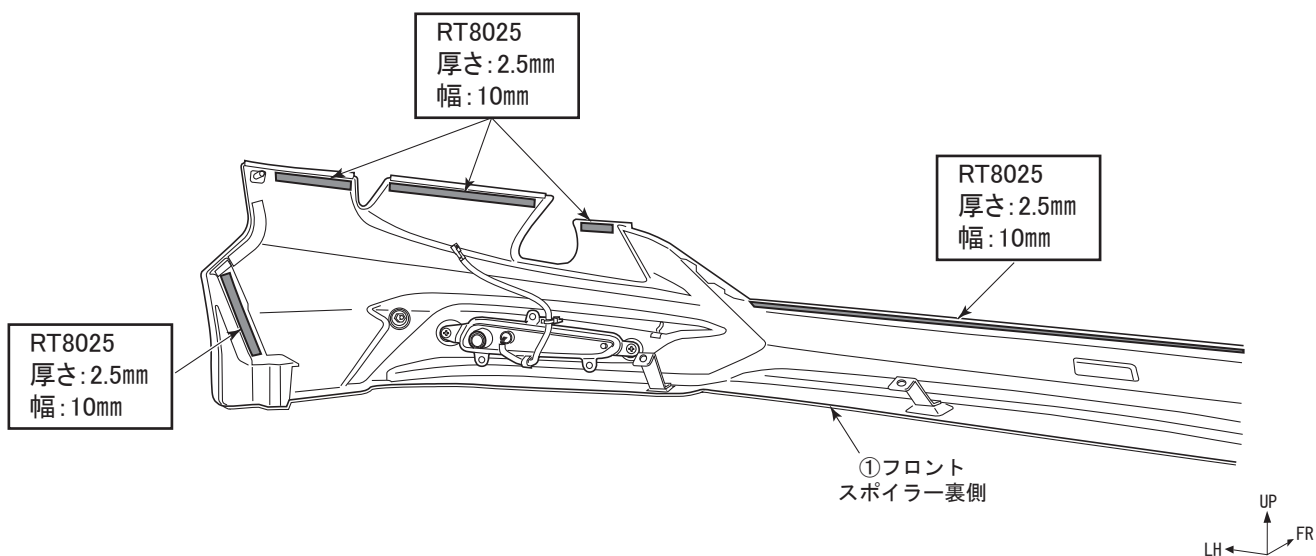
### (4) エンブレムプレートの貼り付け作業

- ①フロントスポイラーセンターの⑭エンブレムプレートを貼り付ける部分を脱脂する。
- ⑭エンブレムプレート裏面の両面テープ離型紙を剥がし①フロントスポイラーの取り付け座面に、上下左右のスキが均等になる様に合わせて貼り付ける。



### 参考

- 補修キット(品番:D2539-63740,MSD80-52H14)を使用してフロントスポイラーの取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼り付けて下さい。



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

<https://www.modellista.co.jp>

「お問合せ先」

モデリスタコールセンター TEL 050-3161-1000

# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

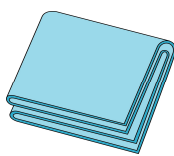


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



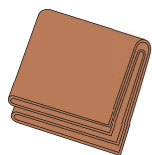
脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス



WET 用  
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)  
純度 70%程度を推奨  
※純度 100%はモールを痛めるため  
使用しないこと

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー  
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用  
燃料用として販売されている  
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。  
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。  
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

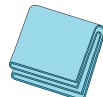
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



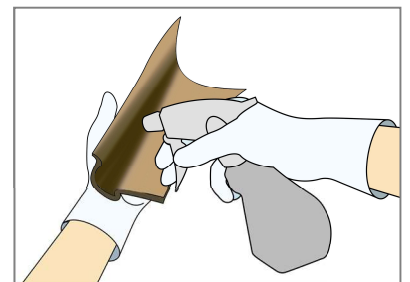
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

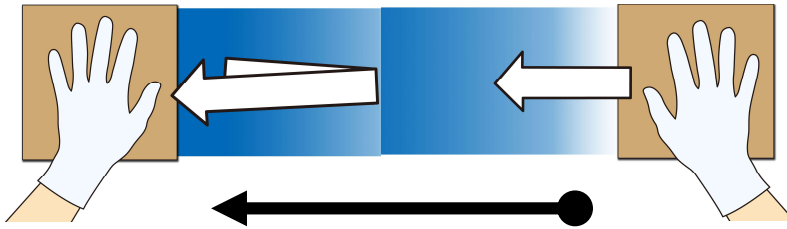
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち  
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

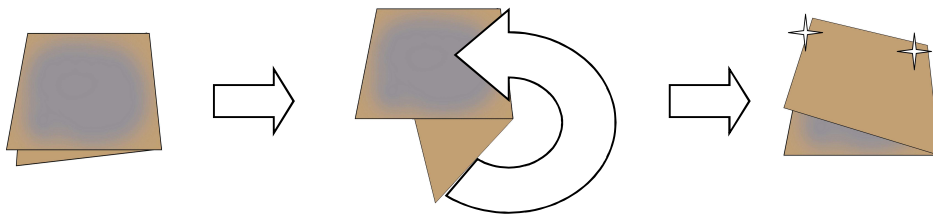
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを  
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が  
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に  
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に  
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に  
したがって行ってください。